東京理科大学報

発行所
東京都新宿区神楽坂1-3
東京理科大学
学報編集委員会
☎03-3260-4271
http://www.tus.ac.jp/
（年4回発行）

平成十八年度東京理科大学入学式が、四月十日午前十時二十分から、東京千代田区の日本武道館で行われた。五千五百七十五人の新入生を迎えた会場は晴れやかな笑顔で満たされた。式は本学管弦楽団の記念演奏で開式。新入生もご父母もやや緊張した面持ちだったが、期待に胸膨らむ様子が伺えた。竹内学長の式辞の後、本学合唱団に合わせて校歌を斉唱し、式が終了した。

長万部へ向かう基礎工学部の新入生は式後直ちにバスに乗り込み、羽田空港へ向かった。翌日十一日には入寮式が行われた。

平成18年度 入学式

未来を担う俊秀勢ぞろい…平成18年度入学式＝日本武道館で

125年の伝統に誇りを

新入生に5つのお願い

学長 竹内 伸

新入生の皆さん、大学院に進学された皆さん、入学、進学まことにおめでとうございます。ご家族、保護者の方々にも心からお慶びを申し上げます。

今年は、東京理科大学が創立されて百二十五周年にあたるおめでたい年でもあります。明治十四年（一八八一）に、大学を卒業したばかりの青年志士たちが「理学を普及することが国を発展させる基礎である」との熱い思いで設立した東京物理学講習所が本学の起源です。そして、本学の前身である東京物理学校の卒業生が、明治時代に設立されたエリート中等学校、師範学校の大半の理数教員を務め建学の理念を実行しました。第二次大戦後に東京理科大学となり、総合理工学系大学として多数の優れた人材を輩出してまいりました。皆さんは、この輝かしい伝統を誇りとして、勉学に励んでください。

皆さんには、入学に際して五つのお願いをしたいと思います。

まず、皆さんには、受身的な意識ではなく、自ら獲得するという能動的な意識をもって学習してもらいたいということです。これまでは、与えられたプログラムに沿って受身で勉強してきたのではないでしょうか。大学で優れた教養を身につけ、高度な専門知識を習得するためには、本人の学習意欲が不可欠です。その原動力として、それぞれ目的や夢をもつことが必要です。目的や夢が達成されたときに、人生最大の喜びが得られるはずです。

第二は自律する心を持つということです。皆さんの多くは、親元を離れて下宿生活をすることになるでしょう。また、学部在学中に多くの方が成人式を迎えます。そこで、皆さんの生活や行動の選択を、皆さん自身が理性的に行わなければなりません。

さて、二十世紀は科学技術の世紀と言われましたが、進歩の裏で、環境問題やエネルギー問題など、人類の未来に暗い影を落とす重大な問題が浮上してきたことはよくご存知のことと思います。そこで、二十一世紀の科学技術者は、自らの行為がもたらす負の波及効果を常に念頭に入れて行動することが要求されます。これからの科学技術者には、幅広い知識と教養が求められます。そこで、第三のお願いは、特定分野の専門家であると同時に、多くの周辺分野にも関心をもつマルチ人間になっていただきたいということです。

資源のないわが国は、科学技術創造立国を目指しています。科学技術創造立国を志向するのは世界的潮流です。科学技術の発展こそが、負の遺産問題を解決して、人類の永続的反映をもたらすとともに、それが国益を利するとの認識があるからです。この二十一世紀に要求される人材は、創造性豊かな人間です。第四のお願いは、創造性の涵養のために、強い知的好奇心をもち新しいことに挑戦する勇気をもっていただきたいということです。

ところで、社会に役立つ人間として、協調性、社会性、忍耐力、指導力などを身につけるためには、日常の過ごし方が重要です。広い交友関係、課外活動、ボランティア活動、海外留学などを、積極的に行っていただきたい。すなわち、第五のお願いは余暇の有効活用です。

さまざまなお願いをしましたが、皆さんの最も輝かしい青春の時期を思う存分エンジョイし、悔いのない充実した生活を送っていただくことを願っています。

九段校舎 誕生

全館ガイド

本学は今年、創立百二十五周年を迎えるにあたり、神楽坂キャンパスの再構築を含む記念事業を推し進めています。神楽坂に新校舎を建設するまでの期間に使用する九段校舎がこの春に誕生しました。工業化学科を除く工学部第一部四学科と第二部三学科、さらに工学研究科の学生、教職員の合計約三千五百人の新しいキャンパスライフが始まっています。化学系学科の集まる5号館に続いて九段校舎も完成したので、今号では、九段校舎の全館をご紹介します。

■建物

中央棟を取り囲みコの字型に配置された南棟、西棟、北棟。これに、建築実験棟と部室棟を加えた計六棟で構成されています。

■改装のコンセプト

昭和三十年代に建設された都市基盤整備公団旧本社ビルを「緑豊かな周辺環境と調和した、快適な都市型工学部キャンパスにコンバージョン（用途変更）し「安全性、機能性、ライフサイクルコスト縮減に配慮」を基本方針としました。

周辺環境と調和した黒と白を基調とした外観で、存在感を印象づけています。内装は学科ごとにテーマカラーを設定し、建物内での配置がわかりやすくなっています。耐震補強や省エネに配慮、併せて、防犯カメラの設置によりセキュリティ向上に努めました。

■授業計画

神楽坂校舎への移動が最小限となるようカリキュラムを配慮しました。一般科目は月曜日午後、木曜日、金曜日午前に九段校舎で集中的に受講できます。また工業化学科の皆さんは神楽坂校舎で理学部第一部の一般科目を履修できます。教職科目は、神楽坂校舎で昼夜問わず受講可能です。

■教室／研究室

教室十五室、ゼミ室六室、百十台の計算機端末を備えたターミナル室があります。研究室は現状スペースを維持し、学科ごとにブロックで配置しています。

■学生生活

○**図書** 従来分散していた学科図書を一つにまとめた合同書庫を地下一階設けました。貸し出しや閲覧は七階の図書閲覧室で行います。また閲覧室では就職資料コーナーも用意し、企業の情報が入手できます。

○**食堂** 席数は神楽坂校舎の約半分の二百五十席です。メニューや営業時間など、神楽坂校舎と同じサービスを提供。また、自習室や談話室、憩いの場として使用でき、無線LAN環境が整備されています。

○**生協売店** 限られたスペースですが、神楽坂校舎と同様に営業します。旅行の取り扱いは神楽坂校舎のみとなります。

○**よろず相談室／保健管理センター** 神楽坂と同様に利用や相談が可能です。

○**部室** 九段校舎と神楽坂校舎の両方に部室を設けました。

○**屋上庭園** 西棟の屋上に憩いの場として芝生の庭園を設けました。

■事務窓口

工学事務課も工学部とともに九段校舎へ移転しました。工学事務課では第一部と第二部の履修や各種証明書等に関する窓口業務を行います。

学生課、就職課、管財課、情報技術課は、神楽坂校舎と九段校舎の両方に担当者が配置されています。校舎間の連携を密にサービスを向上させていきます。

○**証明書自動発行機** 各種証明書や申込書の発行、追再試験料の納入などが可能です。

■避難場所

徹底した耐震補強工事を行いましたが、災害に対して日頃から備えておくことが大切です。千代田区は全域「地区内残留地区」とされていて、地震が起こっても原則として避難する必要がないとされています。

＊

九段校舎に工学部七学科が集結し、学科を越えた交流が促進されることでしょう。工学部の更なる発展にご期待ください。

■神楽坂のその他移転

専門職大学院MOTと専門職大学院事務室が、二月に富士見校舎（千代田区富士見）に移転しました。

理学事務課が、神楽坂校舎1号館から外堀通り沿いにある三幸ビル2階に移転し、理学部第一部・第二部の両学部の履修等に関する窓口業務を行っています。

諏訪東京理科大学長に片岡寛氏

学校法人東京理科大学は平成十八年四月一日付で、諏訪東京理科大学長に片岡寛経営情報学部教授＝写真＝を委嘱しました。重倉・前学長の任期満了に伴うもので、任期は四年間。これにより、学校法人東京理科大学理事の重倉先生は、片岡先生に交代しました。

＊片岡学長の入学式式辞は9頁に掲載。

年々歳々

三月二十七日から三十日にかけて、愛媛県松山市で開催された物理学会に出席した。松山といえば、東京理科大学とは縁の深い土地（？）である。道後温泉に宿をとり、昼間は物理三昧、夜は温泉三昧と幸せな四日間を過ごした。▼学会の発表のなかで特に印象に残ったのは、総合講演で行われた極めて対照的な二つの講演である。一つは、光と磁場を用いた物性物理学における新たな展開についての講演、もうひとつは、物理教育に関する講演であった。▼前者では、光や磁場を用いることによって強相関電子系を操る研究について紹介された。極めて鮮やかな現象が多数報告され、非常に興味をそそられた。一方の物理教育に関する講演では、近年の物理離れに関する報告と改善策、それに大学における物理教育のあり方について報告があった。高校における物理の履修率が低下していることや大学における物理教育の改善が必要であることなど、日本における物理教育の現状の深刻さが伝わってきた。▼若者の理科離れが語られるようになって久しい。しかしながら、物理学は相変わらず大切で、また楽しいものである。総合講演の一つめはそれを象徴している。総合講演以外の一般公演でも、極めて興味深い発見がたくさん行われている様子が伺えた。物理学はあいかわらず前進している。その現状を、ぜひとも、若い人たちにわかっていただきたいと思う。（N・Y）

主な内容

2面 岡村前学長に名誉教授称号／新任教員紹介
3面 総合研究機構発足／平成18年度予算 ほか
4面 産学官セミナー開く／平成18年度入試総括
5面 平成17年度卒業式／平成17年度の就職状況
6・7面 平成18年度入学式グラフ／母校史 ほか
8面 創立百二十五周年記念寄付者芳名
9面 山口・諏訪東京理科大学ニュース
10面 ポストドクトラル研究員／私学助成 ほか
11面 「理大・人」／平成17年度学長表彰 ほか
12面 創立百二十五周年記念イベント告知

岡村前学長と4先生に名誉教授称号

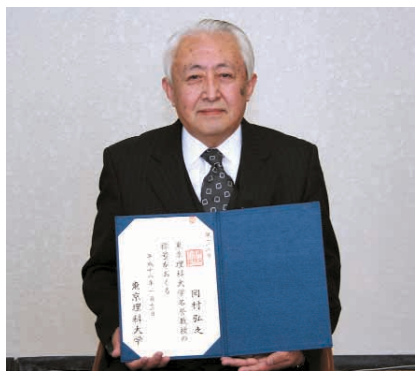
岡村弘之・前東京理科大学長の名誉教授称号授与式が一月三十日(月)、神楽坂校舎大会議室で行われた。

式は、新井庶務課長の司会により進行し、竹内学長から岡村前学長へ、平成十八年一月十二日付の名誉教授称号記がおくられ、祝辞が述べられた。続いて、塚本理事長からお祝いの言葉が贈られ、これに対し岡村前学長から挨拶があった。

この後、学長、理事長をはじめ列席した常務理事、学長補佐、学部長、研究科長の先生方と記念撮影をし、岡村先生を囲み全員で会食をして閉会となった。

＊

また本学は、永年にわたり本学の教育・研究の発展に尽力され、多くの功績を挙げられた四先生に名誉教授の称号を授与した。（敬称略）


岡村弘之前学長

中村福三先生

丸山弘志先生

熊谷輝雄先生

坂田好一郎先生

◇平成18年1月12日付

丸山　弘志　81歳
元理工学部長
東京大学第一工学部精密機械工学科卒業
昭和五十五年に着任以来、平成七年まで専任教授として在職。理工学部長のほか多くの委員会委員を努められた。専門は機械工作法で、さらに広く機械安全やその標準に関連し、我が国の安全規格の国際的標準化に指導的な役割を果たされた。

中村　福三　76歳
元理工学部教授
日本大学工学部電気工学科卒業
昭和四十六年に着任以来、二十四年間にわたり在職された。学生部委員会委員や研究科幹事などを歴任。専門はパワーエレクトロニクスで、特に電力用半導体デバイスを利用した直流変換器、直接交流変換器、交流可変速ドライブなどに有用な知見を残された。

坂田　好一郎　74歳
元理工学部教授
東北大学大学院工学研究科電気・通信工学専攻修士課程修了
昭和四十四年に着任以来、約二十七年間にわたり在職された。学生部委員会委員や研究科幹事などを歴任。専門は電子機能材料工学で、中心的学会である電気学会、応用物理学会において各種委員を務めるなど、この分野の発展に寄与された。

熊谷　輝雄　67歳
理工学部教授
東京大学大学院工学系機械工学専攻博士課程修了
昭和四十四年に着任以来、三十五年間にわたり在職。評議員、広報委員、学科主任などを歴任。陸上競技部、スカイセーリング部のクラブ顧問を永年務められた。専門は流体力学、特にマイクロハイドロダイナミクスで、粘性流体中での微粒子群の運動の理論解析や実験により研究業績をあげられた。

新任教員32氏紹介

（敬称略）

①最終学歴　②前歴　③研究分野　④学位

【理学部第一部】

◆教養学科

講師　武村　政春
（たけむら・まさはる）
①名古屋大学大学院医学研究科病理系専攻博士課程修了②三重大学生命科学研究支援センター助手③生物学教育および分子細胞生物学④博士（医学）、修士（生物資源学）

講師　辺刀　直子
（くぬぎ・なおこ）
①千葉大学大学院自然科学研究科博士後期課程修了②愛知教育大学数学教育講座助手③有限群の表現論④博士（理学）

◆応用物理学科

教授　福山　秀敏
（ふくやま・ひでとし）
①東京大学理学系大学院博士課程修了②東北大学金属材料研究所教授③物性理論④理学博士

教授　高柳　英明
（たかやなぎ・ひであき）
①東京大学大学院理学系研究科相関理化学専攻修士課程修了②NTT物性科学基礎研究所長、NTT R&Dフェロー③低温電子物性、量子コンピュータ④理学博士

助教授　大塚　英典
（おおつか・ひでのり）
①東京理科大学大学院理学研究科博士課程化学専攻修了②独立行政法人物質・材料研究機構生体材料研究センター主幹研究員③物理化学、コロイド・界面化学、医用高分子④理学博士

◆工学化学科

教授　大竹　勝人
（おおたけ・かつと）
①東北大学大学院工学研究科材料化学専攻博士後期課程満期退学②独立行政法人産業技術総合研究所ナノテクノロジー研究部門ナノ流体プロセスグループグループ長③化学工学、物理化学、高圧化学④工学博士

講師　岩村　惠市
（いわむら・けいいち）
①九州大学大学院工学研究科情報工学専攻修士課程修了②PF技術開発センターコンピュータ技術第一部副部長③情報セキュリティ、符号理論④博士（工学）

◆経営工学科

講師　塩濱　敬之
（しおはま・たかゆき）
①大阪大学大学院基礎工学研究科情報数理系専攻数理科学分野博士後期課程修了②一橋大学経済研究所講師③時系列解析、数理統計学④理学博士

【工学部第二部】

◆経営工学科

助教授　渡邉　均
（わたなべ・ひとし）
①名古屋工業大学大学院工学研究科修士課程電子工学専攻修了②日本電信電話株式会社サービスインテグレーション基盤研究所情報流通トラヒックサービス品質プロジェクト主任研究員③信頼性工学④博士（工学）

【薬学部】

◆薬学科

教授　後藤　惠子
（ごとう・けいこ）
①共立薬科大学薬学部卒業、筑波大学大学院体育研究科修士課程（7月修了予定）②（現職）株式会社ウエル・ケア研究所主幸③ファーマシューティカルコミュニケーション、健康心理④薬学士

教授　上村　直樹
（かみむら・なおき）
①東京理科大学薬学部製薬学科卒業②（現職）株式会社ファーミック代表取締役③医療薬学、薬局管理学、社会薬学④薬学士

教授　小茂田　昌代
（こもだ・まさよ）
①千葉大学医学薬学府先進医療科学専攻博士課程在学②（現職）医療法人社団聖秀会柏光陽病院薬剤科長③臨床薬剤師支援システム開発、医療安全学④薬学士

助教授　嶋田　修治
（しまだ・しゅうじ）
①富山医科薬科大学大学院薬学研究科博士後期課程修了②石川島播磨重工業健康保険組合病院③医療薬学④博士（薬学）

【理工学部】

◆教養

講師　深瀬　有希子
（ふかせ・ゆきこ）
①慶應義塾大学大学院文学研究科英米文学専攻博士課程単位取得満期退学②慶應義塾大学理工学部非常勤講師③アメリカ文学④修士（文学）

講師　横田　匡紀
（よこた・まさとし）
①広島大学大学院社会科学研究科国際社会論専攻博士課程後期課程修了②駒澤大学法学部非常勤講師③政治学（公共政策、グローバル・ガバナンス、市民社会）④博士（学術）

◆建築学科

講師　兼松　学
（かねまつ・まなぶ）
①東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修士課程修了②東京大学大学院工学系研究科助手③建築材料学、コンクリート工学④博士（工学）

◆電気電子情報工学科

教授　楳田　洋太郎
（うめだ・ようたろう）
①東京大学大学院理学系研究科物理学専攻修士課程修了②日本電信電話株式会社NTTフォトニクス研究所主任研究員③情報通信用集積回路およびシステム④工学博士

◆経営工学科

講師　堂脇　清志
（どうわき・きよし）

①東京大学工学系研究科地球システム工学専攻博士課程修了②財団法人地球環境産業技術研究機構システム研究グループ主任研究員③環境・エネルギーシステム工学、化学工学④博士（工学）

◆土木工学科

助教授　寺部　慎太郎
（てらべ・しんたろう）
①東京工学大学大学院理工学研究科土木工学専攻博士後期課程修了②高知工科大学工学部社会システム工学科助教授③交通計画④博士（工学）

【基礎工学部】

◆材料工学科

助教授　菊池　明彦
（きくち・あきひこ）
①東京理科大学大学院理工学研究科工業化学専攻博士後期課程修了②東京女子医科大学先端生命医科学研究所助教授③高分子化学、バイオマテリアル工学④工学博士

助教授　田村　浩二
（たむら・こうじ）
①東京大学大学院理学系研究科物理学専攻博士課程修了②The Scripps Research Institute上級研究員③生体物質化学、RNA化学④博士（理学）

【経営学部】

◆経営学科

助教授　大沼　宏
（おおぬま・ひろし）
①一橋大学大学院商学研究科博士後期課程単位取得退学②小樽商科大学商学部商学科会計学講座助教授③財務会計論、税務会計論④修士（商学）

助教授　能上　慎也
（のがみ・しんや）
①東北大学大学院工学研究科電気及び通信工学専攻博士後期課程修了②日本電信電話株式会社サービスインテグレーション基盤研究所情報流通トラヒックサービス品質プロジェクト主任研究員③情報ネットワーク工学、通信トラヒック工学④工学博士

助教授　佐々木　圭吾
（ささき・けいご）
①一橋大学大学院商学研究科博士後期課程単位取得退学②横浜市立大学国際総合科学部助教授③経営組織論、経営戦略論、知識経営論④修士（商学）

【総合科学技術経営研究科総合科学技術経営専攻（MOT）】

教授　安藤　正海
（あんどう・まさみ）
①東京大学工学系大学院物理工学修士課程修了②高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所教授③屈折原理2D、3D医用画像の開発④工学博士

◇山口東京理科大学

【基礎工学部】

◆電子・情報工学科

助教授　永田　寅臣
（ながた・ふさおみ）
①佐賀大学大学院工学系研究科システム生産科学専攻博士後期課程修了②福岡県工業技術センター機械電子研究所電子技術課専門研究員③ロボットのインテリジェント制御と産業応用④工学博士

◇諏訪東京理科大学

【システム工学部】

◆電子システム工学科

教授　石井　隆生
（いしい・たかお）
①大阪大学大学院理学研究科無機及び物理化学専攻博士課程修了②NTTフォトニクス研究所複合光デバイス研究部主任研究員③無機結晶材料④理学博士

【経営情報学部】

◆経営情報学科

教授　石森　秀明
（いしもり・ひであき）

①東京理科大学理学部応用数学科卒業②日本電気株式会社第三ソリューション事業本部③経営情報システム論、企業ICTシステム④理学士

助教授　成松　恭平
（なりまつ・きょうへい）
①明治大学大学院経営学研究科博士後期課程単位取得満期退学②明治大学経営学部非常勤講師③原価計算、原価管理、管理会計④経営学修士

講師　平尾　毅
（ひらお・たかし）
①一橋大学大学院商学研究科博士後期課程修了②日本学術振興会特別研究員③イノベーション論、人材マネジメント④博士（商学）

【共通教育センター】

講師　青野　智子
（あおの・ともこ）
①東京大学大学院総合文化研究科博士課程単位取得退学②鶴見大学文学部英語英米文学科非常勤講師③英語教育、アメリカ演劇、文化経済学④学術修士

講師　武藤　英
（むとう・ひでし）
①東京工業大学理工学研究科原子核工学科博士課程修了②諏訪東京理科大学非常勤講師③研究分野：原子核実験（加速器）④工学博士

「総合研究機構」が発足

5部門・10センターの新体制

機構長 二瓶 好正

昨年十一月一日付で、東京理科大学総合研究機構が発足致しました。本機構は旧総合研究所を全面的に改組し、学内措置により設置された五つの研究部門に加えて、全学に分散配置されていた十の研究センターを全て統合した新しい組織であります。

この改組により、東京理科大学における各学部、各研究科にまたがる研究分野を横断的に総合する全学的な研究組織ができあがったこととなります。また、本機構の設立に併せて、東京理科大学総合研究戦略委員会、同総合研究審議委員会、同総合研究評価委員会も設立されました。このような整備により、本学の総合的な研究推進体制は格段に強化されることとなります。

上記のような総合研究体制は、本学が創立百二十五周年を迎えるに当たり学内研究体制を整備するとともに、今日の大学を取り巻く社会環境の激変に対応し、本学の学術教育研究体制の持続的発展・強化と人材育成環境の格段の高度化を実現することにより、社会に大きく貢献しようとするためのものであります。

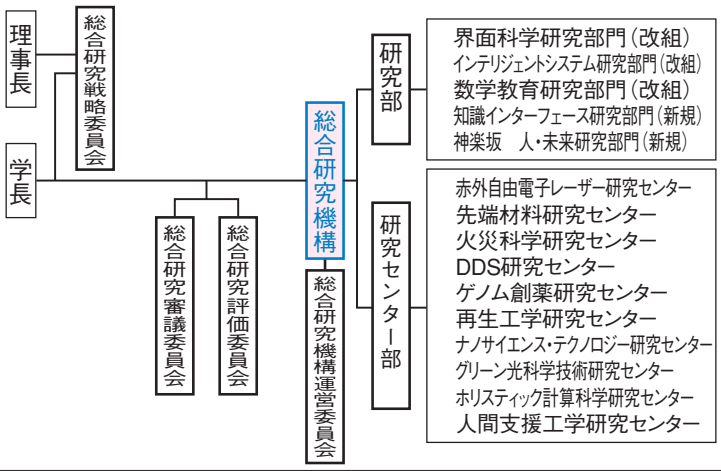
なお、本機構の制度設計は、「東京理科大学に於ける研究所等のあり方について」（平成十六年三月答申）、「東京理科大学総合研究機構設立の提案」（平成十七年四月答申）、ならびに「東京理科大学総合研究機構設立準備委員会報告書」（平成十七年十一月答申）によって行われました。

新規研究部門募集など活動強化推進

本年度は、新たに研究センターを追加設置すると共に、新規研究部門を募集・設置し、今秋には学外に向けて記念シンポジウムを開催するなど、総合研究機構の拡充・発展に向けて活動を強化する予定です。

折しも、本学の創立百二十五周年にあたり、また、第三期科学技術基本計画の発足の初年度にもあたりますので、全学の教職員の皆様方には、総合研究機構の今後の活動にご理解とご協力をお願い申し上げます。

● 東京理科大学総合研究機構組織 ●



平成18年度予算 編成

学校法人東京理科大学理事会

平成十八年度は創立百二十五周年という節目の年にあたり、各種記念行事を遂行しつつ、情報発信基地としての都心型キャンパスの構築を更に進めるため、神楽坂既存校舎の解体、新二号館建築というキャンパス再構築事業を推進し、さらなる教育・研究の質的向上と将来への礎となる環境整備の充実を図るという目的のもと、健全経営の理念に基づき、平成十八年度予算の編成を行った。

重点項目として次のことを盛り込むこととした。

一、神楽坂地区再構築計画
①新二号館建築に係わる建築費等
②大学会館建築費
③二、三、七、八、九号館解体費用
④仮移転用教室に係わる賃借料等
⑤一、六号館改修費用

二、野田地区再構築計画
①校舎耐震改修工事費等
②研究室改修工事費等

三、研究開発プロジェクト
①ポリスケールテクノロジー研究センター（新規）
②ナノ粒子健康科学研究センター（新規）
③量子生命情報センター（新規）
④DDS研究センター（継続）
⑤ゲノム創薬研究センター（継続）
⑥グリーン光科学技術研究センター（継続）
⑦再生工学研究センター（継続）
⑧ナノサイエンス・テクノロジー研究センター（継続）
⑨先端材料研究センター（継続）
⑩人間支援工学研究センター（継続）
⑪ホリスティック計算科学研究センター（継続）

四、右記「三」を文部科学省が行う「学術研究高度化推進事業」の対象経費とすることとし、研究設備整備費等補助金および経常費補助金（特別補助）を予算措置すること。

五、創立百二十五周年記念事業に充当するため総額五十億円を目標に募集している寄付金のうち、平成十八年度目標額を予算措置すること。

なお、資金収支予算書における前年度繰越支払資金および消費収支予算書における前年度繰越消費支出超過額は、平成十七年度決算確定前の予算額に基づいている。

＊詳細は、七月頃ホームページへ掲載予定。

平成18年度 資金収支予算

［平成18年4月1日から平成19年3月31日まで］

（単位：千円）

収入の部

科目	18年度予算額	科目	18年度予算額	科目	18年度予算額
学生生徒等納付金収入	25,638,702	第3号基本金運用収入	15,000	神楽坂新2号館建築引当特定預金からの繰入収入	2,000,000
授業料収入	16,658,832	受取利息・配当金収入	317,200	前期末未収入金収入	1,190,454
入学金収入	2,699,760	施設設備利用料収入	62,843	貸付金回収収入	125,282
実験実習料収入	1,576,700	事業収入	657,807	保証金回収収入	77,310
施設設備資金収入	4,703,410	受託事業収入	642,667	資金収入調整勘定	△ 17,404,912
手数料収入	1,457,761	知的財産権実施料等収入	15,140	期末未収入金	△ 1,106,759
入学検定料収入	1,414,561	雑収入	1,110,895	前期末前受金	△ 16,298,153
試験料収入	9,000	入学要項売上収入	17,300	前年度繰越支払資金	26,670,025
証明手数料収入	16,000	私立大学退職金財団交付金収入	849,160		
大学入試センター試験実施手数料収入	18,200	その他の雑収入	244,435		
寄付金収入	1,273,500	前受金収入	16,701,288		
特別寄付金収入	1,000,000	授業料前受金収入	9,031,502		
一般寄付金収入	273,500	入学金前受金収入	2,703,795		
補助金収入	3,794,387	実験実習料前受金収入	519,668		
国庫補助金収入	3,780,767	施設設備資金前受金収入	4,404,683		
地方公共団体補助金収入	8,920	その他の前受金収入	41,640		
学術研究振興資金収入	4,700	その他の収入	4,465,287		
資産運用収入	395,043	退職給与引当特定預金からの繰入収入	1,072,241	収入の部合計	64,759,783

支出の部

科目	18年度予算額	科目	18年度予算額	科目	18年度予算額
人件費支出	16,338,482	消耗品費支出	100,910	建設仮勘定支出	3,181,000
教員人件費支出	10,307,230	光熱水費支出	103,200	設備関係支出	1,797,501
職員人件費支出	4,793,844	旅費交通費支出	83,973	教育研究用機器備品支出	1,497,456
役員報酬支出	97,887	福利厚生費支出	42,886	その他の機器備品支出	161,179
退職金支出	1,139,521	通信運搬費支出	46,349	図書支出	124,966
教育研究経費支出	8,999,827	印刷費支出	217,559	車輌支出	3,800
消耗品費支出	1,850,332	保険料支出	17,528	特許権支出	10,100
光熱水費支出	1,052,417	広告費支出	330,748	資産運用支出	1,072,241
旅費交通費支出	463,592	渉外・会議費支出	35,754	退職給与引当特定預金への繰入支出	1,072,241
奨学費支出	176,379	賃借料支出	130,890	その他の支出	1,717,416
福利厚生費支出	86,980	修繕費支出	68,116	貸付金支払支出	469,600
通信運搬費支出	234,667	諸会費支出	15,697	前期末未払金支払支出	1,217,335
印刷費支出	312,424	公租公課支出	68,105	預り金支払支出	27,381
広告費支出	12,858	報酬・委託・手数料支出	624,568	保証金支払支出	3,100
会議費支出	14,246	保守料支出	116,064	予備費	300,000
賃借料支出	842,210	資料費支出	64,241	資金支出調整勘定	△ 1,550,774
修繕費支出	349,991	雑費支出	63,273	期末未払金	△ 1,550,774
諸会費支出	86,087	借入金等利息支出	52,377	次年度繰越支払資金	27,614,768
公租公課支出	226	借入金利息支出	52,377		
報酬・委託・手数料支出	1,394,502	借入金等返済支出	1,483,160		
保守料支出	546,178	借入金返済支出	1,483,160		
資料費支出	709,322	施設関係支出	4,804,924		
雑費支出	867,416	建物支出	1,503,492		
管理経費支出	2,129,861	構築物支出	120,432	支出の部合計	64,759,783

平成18年度 消費収支予算

［平成18年4月1日から平成19年3月31日まで］

（単位：千円）

消費収入の部

科目	18年度予算額	科目	18年度予算額	科目	18年度予算額
学生生徒等納付金	25,638,702	一般寄付金	273,500	知的財産権実施料等収入	15,140
授業料	16,658,832	現物寄付金	127,302	雑収入	1,110,895
入学金	2,699,760	補助金	3,794,387	入学要項売上収入	17,300
実験実習料	1,576,700	国庫補助金	3,780,767	私立大学退職金財団交付金	849,160
施設設備資金	4,703,410	地方公共団体補助金	8,920	その他の雑収入	244,435
手数料	1,457,761	学術研究振興資金	4,700		
入学検定料	1,414,561	資産運用収入	395,043		
試験料	9,000	第3号基本金運用収入	15,000		
証明手数料	16,000	受取利息・配当金	317,200		
大学入試センター試験実施手数料	18,200	施設設備利用料	62,843	帰属収入合計	34,455,397
寄付金	1,400,802	事業収入	657,807	基本金組入額合計	△ 1,284,634
特別寄付金	1,000,000	受託事業収入	642,667	消費収入の部合計	33,170,763

消費支出の部

科目	18年度予算額	科目	18年度予算額	科目	18年度予算額
人件費	16,338,482	諸会費	86,087	修繕費	68,116
教員人件費	10,307,230	公租公課	226	諸会費	15,697
職員人件費	4,793,844	報酬・委託・手数料	1,394,502	公租公課	68,105
役員報酬	97,887	保守料	546,178	報酬・委託・手数料	624,568
退職金	823,496	資料費	709,322	保守料	116,064
退職給与引当金繰入額	316,025	雑費	867,416	資料費	64,241
教育研究経費	13,883,356	減価償却額	4,883,529	雑費	63,273
消耗品費	1,850,332	管理経費	2,225,026	減価償却額	95,165
光熱水費	1,052,417	消耗品費	100,910	借入金等利息	52,377
旅費交通費	463,592	光熱水費	103,200	借入金利息	52,377
奨学費	176,379	旅費交通費	83,973	予備費	300,000
福利厚生費	86,980	福利厚生費	42,886		
通信運搬費	234,667	通信運搬費	46,349		
印刷費	312,424	印刷費	217,559		
広告費	12,858	保険料	17,528	消費支出の部合計	32,799,241
会議費	14,246	広告費	330,748	当年度消費収入超過額	371,522
賃借料	842,210	渉外・会議費	35,754	前年度繰越消費支出超過額	14,887,111
修繕費	349,991	賃借料	130,890	翌年度繰越消費支出超過額	14,515,589

42氏が定年をお迎え

長年にわたり本学の教育・研究、事務に尽力された四十二氏が三月三十一日付けで定年を迎えられた。（敬称略）

【理一】教養・長島秀行▽物理・石井力／小林正明／富樫富隆▽数情・堀部安一▽応物・金子聰／服部武志▽応化・金元哲夫

【理二】物理・川端潔

【工一】建築・鈴木信宏▽工化・今野紀二郎▽電気・赤池正巳／遠藤三郎▽機械・能登景一

【工二】経工・狩野紀昭

【薬】製薬・原博

【理工】教養・太田和紀▽物理・新井重一郎／尾立晋祥▽建築・井口道雄▽工化・阿部芳首／二瓶好正▽電情・首藤克彦／村田雄司▽機械・澤芳昭▽土木・森地重暉

【基礎工】電子・伊藤紘二▽材料・後藤芳彦▽生物・中村有伸

【MIP】馬場錬成

＊

【事務総局】周年記念事業事務局・並木榮一▽工学事務課（機械工作工場）・加藤隆／五味征男▽野田事務部・安蒜英雄▽研究事務課・土屋律行▽長万部事務部・田村吉彦▽久喜事務部・加藤邦夫▽就職課（神楽坂）・興村幾子（選択定年）

＊

【山口理大】教養・島幸子／大野尚典

【諏訪理大】経営情報・七松敏▽共通教育・河本綜雄

悼

高木 幹雄元教授（基礎工学部電子応用工学科）平成十八年二月二日逝去されました。六十九歳。

関 明元久喜校舎事務部長 平成十八年三月十一日逝去されました。六十八歳。

鳥飼 欣一元教授（理工学部機械工学科）平成十八年四月六日逝去されました。八十歳。

新任職員 9名

四月一日付で新採用の職員九人は次のとおり。（敬称略）

◇神楽坂校舎▼経理課・篠原三奈▼庶務課・荻原佳子▼学務課・中岡直美▼学務課教職課程支援室・中島優輔▼理学事務課・西本幸治▼保健管理センター事務課・西條友理子▼管財課（神楽坂）環境保全室・竹澤彩

◇野田校舎▼管財課（野田）・久保順嗣

◇長万部事務部・高橋栄

（前列左から）西本さん、中岡さん、荻原さん、中島さん、（後列左から）竹澤さん、久保さん、西條さん、篠原さん・円内は高橋さん

産・学・官 連携と知財のひろば⑧
Innovation Navigator

講演+研究室見学会
好評！　連携型　セミナー

三月二十四日（金）、野田キャンパスで科学技術交流センター（TLO）と千葉県の共催による、本学の材料・機械工学・電子情報分野をテーマとした講演会（第一部）と研究室見学（第二部）の二部構成からなる「大学連携型産学官セミナー」を開催した。

講演する千葉明教授（正面）

第一部の講演会では、基礎工学部材料工学科の向後保雄教授が「複合材料の開発と機械的特性評価」、基礎工学部電子応用工学科の宮本岩男教授が「最新のダイヤモンドデバイス等の超微細加工技術」、理工学部電気電子情報工学科の千葉明教授が「パワーメカトロニクス、ドライブエレクトロニクスの最新技術動向」についてそれぞれ講演を行い、中小企業及び、千葉県の関係者が約七十人参加し熱心に聴講していた。

第二部では、「半導体、金属、高分子、セラミックス、生体機能材料等の材料に関する研究室」「現代および未来社会を支える基盤としての先端の機械技術に関する研究室」「通信・情報、エネルギー・環境、エレクトロニクスデバイスに関する研究室」の三コースに分かれ、最先端の研究施設、設備や火災科学研究センター等の見学を行った。

二部構成で講演と研究室見学を組み合わせて行うのはTLOとして初の試みである。講演だけでは知ることのできない詳細な研究内容に直に触れることができ、参加者からは今後も企業と大学の出会いの場としてはもちろん、企業の研究開発の手助けとなるこのような有意義なセミナーを継続して開催して欲しいとの要望が寄せられるなど、好評を博した。

「全国入試」好評展開
平成18年度入試　志願者減続く

表1.＜平成18年度私大入試志願者数＞

①	早稲田大学	110,996
②	立命館大学	93,546
③	明治大学	84,526
④	関西大学	83,000
⑤	日本大学	74,450
⑥	法政大学	72,591
⑦	中央大学	60,822
⑧	立教大学	58,714
⑨	東洋大学	53,966
⑩	近畿大学	52,933
⑪	青山学院大学	47,829
⑫	慶應義塾大学	46,328
⑬	関西学院	45,205
⑭	**東京理科大学**	44,531
⑮	同志社大学	43,111

※単位：人／一般入試＋センター入試の合計／Ⅱ期入試＝後期入試は除く

表2.＜平成18年度東京理科大学学部別志願者数＞

学部	A方式（人）	B方式（人）	合計（人）
理学部第一部	2,971	6,904	9,875
工学部第一部	2,102	6,331	8,433
薬学部	1,137	2,083	3,220
理工学部	4,870	11,426	16,296
基礎工学部	704	1,656	2,360
経営学部	1,328	1,358	2,686
昼間学部合計	13,112	29,758	42,870
理学部第二部	523	590	1,113
工学部第二部	220	327	547
夜間学部計	743	917	1,660
大学合計	13,855	30,675	44,530

平成18年度の本学入試はB方式（本学独自試験）が二月三日の経営学部を皮切りに順次実施された。本学の志願者数は、A方式（大学入試センター試験利用）を合わせて、四万四千五百三十人（前年度比千三百六十八人減＝約三％減）となり、残念ながら三年連続で減少した。

A方式では、志願者数一万三千八百五十五人（前年度比二百十七人減＝約一・五％減）、B方式の志願者数は三万六百七十五人（前年度比千百五十一人＝約三・六％減）であった。

本学の志願者数の減少は、十八歳人口の減少、工学系統の人気低下、薬学部の六年制と四年制への分離が要因と考えられる。

また、全体の志願者数は減少したものの、平成十八年度から昼間学部六学部全てにおいて全国五都市（札幌・仙台・名古屋・大阪・福岡）で受験することが可能となったため、全国から多くの志願があった。この全国入試は、受験生にとって経済的・時間的負担を軽減できるメリットがあるため好評であり、この影響を受けて、理学部第一部、理工学部では志願者数が昨年度に比べ増加した。

今後は、入試制度改革だけでなく、受験生・在学生・卒業生の満足度を上げるサービスを提供できるように努力し、本学の魅力をPRすることが志願者の増加にも繋がるといえよう。

バイオEXPO　7氏が発表

アジア最大のバイオイベント「第五回国際バイオEXPO」が東京有明のビッグサイトで五月十七日（水）から十九日（金）まで開催され、その併設企画の大学・国公立研究所の研究者による発表の場である「バイオアカデミックフォーラム」で、本学は七つのパビリオンブースを設置し、パネル等により研究内容を広く紹介するとともに、七名の研究者が研究成果の口頭発表を行う。＝下の表を参照。

所属・役職	氏名	発表内容
薬学部薬学科教授	牧野　公子	結核治療を目的とした経肺吸収DDS
薬学部生命創薬科学科教授	深井　文雄	接着分子／インテグリンを分子標的とした新規治療薬の開発
理工学部情報科学科教授 理工学研究科長	大矢　雅則	EPR効果を下にした薬剤浸透性の計算機シミュレーション
理工学部応用生物科学科教授 理学部第一部応用化学科助教授	池北　雅彦 椎名　勇	疑似対称型タモキシフェンの短工程合成ならびにその薬理活性
理学部第一部応用化学科教授	矢島　博文	生体高分子による単層カーボンナノチューブの分離と応用
基礎工学部生物工学科教授	千葉　丈	遺伝子免疫によるGPCRや転写因子などに対する抗体の迅速作製

諏訪理大に産学官連携コーディネーター

二月に文部科学省において公募のあった「産学官連携コーディネーター（地域の知の拠点再生担当）配置機関の公募」について全国で三十五件の応募があり、その中で諏訪東京理科大学を含む七機関に産学官連携コーディネーター（地域の知の拠点再生担当）が配置されることが決定された。

これは同コーディネーターを介して、大学等の社会貢献・大学等の「知」を活用した地域の活性化への取り組みの促進を目的としている。諏訪東京理科大学では、諏訪市、茅野市、岡谷市他三町村、財団法人長野県テクノ財団他一法人等と連携し「ものづくりメッセ諏訪構想に基づく諏訪地域再生計画」を推進する。

カナダ・グエルフ大で貴重な体験
事務系職員海外研修　6カ月

学務部国際交流課　高崎　ゆきこ

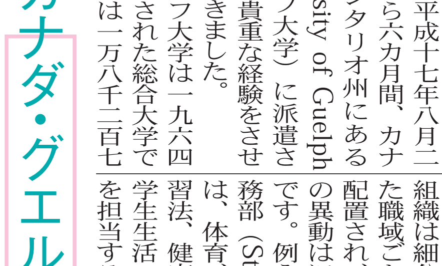
グエルフ大の職員のみなさんと、右から2人目が高崎さん＝同大大学院生用ラウンジで

私は事務系職員海外研修生として平成十七年八月二十五日から六カ月間、カナダ・オンタリオ州にあるUniversity of Guelph（グエルフ大学）に派遣させていただきました。

グエルフ大学は一九六四年に創立された総合大学です。学生は一万八千二百七十三人（フルタイム：学部一万五千四十一人・大学院千八百六十五人、パートタイム：千三百六十七人）です。教員は八百人ですが、教員以外の職員は千九百四十人にもなります。

私がグエルフ大学で驚いた点の一つに、教員以外の職員数の多さとその専門性、および学生サービスの充実が挙げられます。事務組織は細分され、細分された職域ごとに専門の職員が配置され、他の専門職域への異動はほとんどないようです。例えば、学生関係事務部（Student Affairs）は、体育、育児、就職、学習法、健康、住居、そして学生生活・カウンセリングを担当する合計七つの部門から成ります。その内の学生生活・カウンセリング（Student Life and Counselling Services）は、学生生活支援、カウンセリング、案内窓口、障害者支援、信仰支援のチームで構成。私はその中の学生生活支援チームに二カ月間ほど所属し仕事や行事の見学などを行いました。

学生生活支援チームには、先住民、新入生、コミュニティー参加、学外居住者、リーダーシップ教育、学生活動、留学生などについて各々専門の職員を配置し支援を行っています。また、学生サービスは、施設設備などのハード面の他、心身の健康支援などソフト面も多岐にわたり充実しています。笑顔が絶えないキャンパスの光景からは想像できませんでしたが、実際は多くの学生が心に様々な悩みを抱えており、常勤八人のカウンセラーが相談にのっています。なお、どのサービスでも学生は担当者との面談予約が必要な事が多く、その面では本学に比べて不自由だと感じました。


グエルフ大キャンパス

二つめには、学生の勤勉さと好奇心が挙げられます。グエルフ大学の学生は、本学の学生と同様に大変よく勉強します。学習支援センターやカフェテリア等がある図書館は夜中の二時まで開いており、常に多くの学生が学習しています。

また、学業だけでなく課外活動にも積極的に取り組む学生が多く、様々な場面で〝Get involved!〟（参加しましょう）という言葉をよく耳にしました。

さらに、Peer Helper Programという制度では学生関係事務部を中心に学生がボランティアとして参加するなど、多くの学生が互いに学生生活を支えています。学生は大学内だけでなく地域や国際社会の中で学んでいます。これは、カナダでは人々は多種多彩な文化や価値観を持ち、ボランティア精神が社会に浸透している現れかと思います。

私は、本学の学生が、多様な文化・価値観を認めあうことのできる社会のリーダーとしてますます活躍できるように事務職員として手助けが出来たらと思います。素晴らしい研修をありがとうございました。

新海外短期研修2
「オレゴン」に加え　―カリフォルニアとインド―

本学の「海外短期英語研修プログラム」には、毎年実施しているオレゴンサマープログラムがありますが、今年度はこれに加えて二つのプログラムを新設しました。このプログラムは、英語研修だけでなく、ITにも着目しています。

各プログラムの詳細は次の通り。

■カリフォルニア大学シリコンバレーIT&英語プログラム

①内容　UCSC（カリフォルニア大学サンタ・クルーズ校）が本学学生用に作成した英語とITのプログラム。午前中は英語、午後は技術英語を学び、毎週木曜午後にはシリコンバレーにある博物館やIT企業（Yahoo!, Intelなどを予定）を訪問し、ミニ研修などを行います。

②期間　八月初旬より四週間

③費用　約五十七万円。授業料、宿泊料（ホームステイ、三食付き）、交通費、諸雑費を含む。

④参加資格・人員　東京理科大学の学部生、大学院生。二十人。

■インドIT&英語プログラム

①内容　インドの政府系IT研究機関とインド有数のプネ大学と連携した英語とITのプログラム。午前中は日常会話とビジネス英語を学びTOEIC百点アップを目指す。午後は英語でIT技術（WEB開発など）を習います。

②期間　八月初旬より四週間

③費用　約三十七万円。授業料、宿泊料（二食付き、土日除く）、交通費、諸雑費を含む。

④参加資格・人員　東京理科大学の学部生、大学院生。二十人。

■オレゴンサマープログラム

①内容　本学で十年以上の歴史を有するプログラム。PSU（ポートランド州立大学）にて、Speaking and Listening, American Culture and Technologyの2つの授業を受けます。週末には小旅行（オレゴン州各地、シアトル、ラフティング等）も予定されており、アメリカの大自然を体験できます。また、PSU正規学生（アシスタント）と交流します。このプログラムは本学の単位に認定されます。

②期間　八月初旬より一カ月

③費用　約五十万円。授業料、宿泊料、食費（三食）、交通費、諸雑費を含む。

④参加資格・人員　東京理科大学の学部生、大学院生。七十五人程度。

＊

各プログラムの説明会を四～五月に開催します。開催日程は、国際交流課HP（http://www.tus.ac.jp/kokusai/）で確認を。

明るさ増した就職状況

平成17年度 大学院進学率48％

平成十七年度の就職状況は、景気回復に伴う設備投資の増加や新規事業の拡大、団塊世代の大量退職に備えての求人増などを反映して、雇用情勢は一段と増加傾向にある。

こうした状況下、本学に対する求人件数は四千五百二十五件で、対前年比六％増加した。業種別には建設・電機、機械、自動車等の製造業が増加している。また都道府県別では総じて大都市圏からの求人が増えている。

次に、本学の就職内定率は九六％（三月二十日現在）となっている。これは本学の学生が十分な基礎学力と高度な専門知識を身に付けた「実力主義の教育理念」が社会に高く評価されている現われである。教員関係は、公立・私立学校採用試験に六十二人が合格し、国家・地方公務員試験は、百三十五人が合格した。また、大学院修士課程に千六百四十一人（昼間学部進学率四七・九％）が進学している。

就職課では低学年からのキャリア支援としてのスキルアップを図るため、キャリアプランニングセミナー、公務員・教員ガイダンス、企業研究セミナー、インターンシップ、各種試験対策模試、面接講習会など様々なキャリア支援プログラムを行っている。学生の皆さんは、積極的に参加願いたい。

最後に、神楽坂校舎の新校舎建設工事のため、工学部が九段校舎に移転したことに伴い、九段校舎（南棟七階）に就職課事務室が開設された。また、野田キャンパスにおいても、新たに就職課（1号館三階）が広くなって模様替えとなった。気楽に立ち寄ってもらいたい。

平成17年度 主な就職内定先

＜㈱は省略＞

業種	企業名・省庁名等	内定者数
建設	積水ハウス	10
	清水建設	7
	大和ハウス工業	6
	NTTファシリティーズ	5
	大林組	5
	東急建設	5
	竹中工務店	5
	鹿島建設	5
	旭化成ホームズ	4
	関電工	3
	五洋建設	3
	鴻池組	3
	エス・バイ・エル	3
	大東建託	3
	日揮	3
	日本コムシス	3
食料品	日本たばこ産業	5
	森永乳業	4
	キリンビール	4
	理研ビタミン	3
	明治乳業	3
	ヤクルト	3
繊維・金属製品	東レ	9
	ブリヂストン	8
	トステム	5
化学工業	花王	9
	富士写真フイルム	7
	積水化学工業	5
	住友スリーエム	5
	JSR	5
	日本ゼオン	5
	クレハ	4
	旭化成	3
	東洋インキ製造	3
	P&G	3
	旭電化工業	3
医薬・化粧品	中外製薬	14
	大日本住友製薬	4
	キッセイ薬品工業	4
	エーザイ	4
	第一三共	4
	ヤンセンファーマ	4
	協和発酵	3
	大塚製薬	3
	富山化学工業	3
	ファイザー	3
	小野薬品工業	3
	武田薬品工業	3
	佐藤製薬	3
	大鵬薬品工業	3
	日本アルコン	3
精密	オリンパス	8
	シチズン時計	4
	テルモ	3
電機・機械	日立製作所	35
	日本電気（NEC）	29
	リコー	21
	キヤノン	19
	東芝	14
	富士ゼロックス	14
	富士通	12
	三菱電機	10
	ソニー	9
	セイコーエプソン	8
	松下電器産業（ナショナル）	8
	日本ヒューレット・パッカード（HP）	7
	カシオ計算機	6
	ローム	6
	シャープ	6
	京セラ	5
	アルプス電気	5
	パイオニア	5
	日本電産	4
	村田製作所	4
	エンプラス	4
	キヤノンアネルバ	4
	光洋精工	3
	オムロン	3
	新日本無線	3
	フィリップスエレクトロニクスジャパン	3
	マブチモーター	3
	三洋電機	3
	サンケン電気	3
	横河電機	3
	川崎マイクロエレクトロニクス	3
	NECエレクトロニクス	3
	ブラザー工業	3
輸送用機械	トヨタ自動車	28
	本田技研工業	19
	三菱重工業	14
	豊田自動織機	12
	スズキ	8
	デンソー	8
	三菱自動車工業	7
	石川島播磨重工業	6
	矢崎総業	6
	富士重工業	5
	日野自動車	4
	日産自動車	4
	マツダ	4
	ヤマハ発動機	4
	アイシン精機	3
	いすゞ自動車	3
その他製造	大日本印刷	17
	凸版印刷	13
	セガ	4
	インクス	3
商業	アインファーマシーズ	7
	興和	4
	キヤノンマーケティングジャパン	4
	日立ハイテクノロジーズ	4
	クラフト	4
	YKKAP	4
	大塚商会	3
	住友林業	3
	マツモトキヨシ	3
	薬樹	3
金融・保険・証券	損害保険ジャパン	6
	野村證券	5
	大和証券グループ本社	4
	日興コーディアル証券	4
	三菱東京UFJ銀行	4
	三井住友銀行	4
	栃木銀行	4
	日本銀行	4
	みずほフィナンシャルグループ	4
	京葉銀行	3
	住友信託銀行	3
運輸・通信・エネルギー	NTT東日本	10
	NTTコミュニケーションズ	9
	JR東日本	7
	東京電力	7
	日本テレコム	5
	KDDI	4
	全日本空輸	3
	ソフトバンクBB	3
	東京ガス	3
情報・その他サービス	NTTデータ	25
	NECソフト	14
	野村総合研究所	13
	ITフロンティア	11
	伊藤忠テクノサイエンス	11
	大和総研	11
	ヤフー	11
	新日鉄ソリューションズ	10
	TIS	9
	インテック	8
	電通国際情報サービス	7
	CSKシステムズ	5
	ソラン	5
	農中情報システム	5
	アルファシステムズ	5
	ダイヤモンドコンピューターサービス	5
	全日空システム企画	5
	日立電子サービス	5
	日本総合研究所	5
	ジャルインフォテック	5
	富士通FIP	4
	NECシステムテクノロジー	4
	損保ジャパン・システムソリューション	4
	NTTコムウェア	4
	理化学研究所	4
国家公務員	文部科学省	4
	財務省	3
	国土交通省	3
	経済産業省	3
	警察庁	3
	防衛庁	3
地方公務員	東京消防庁	7
	東京都（都職員）	6
	東京都（特別区職員）	6
	警視庁	4
	埼玉県　さいたま市職員	3
教育	東京都公立学校教員	14
	神奈川県公立学校教員	3
	北海道公立学校教員	2
	千葉県公立学校教員	2
	茨城県公立学校教員	2

がんばったV！晴れ着で晴れ晴れ

「感性に磨きを」と竹内学長

平成17年度学位記・修了証書授与式

平成十七年度の学位記・修了証書授与式が三月二十日、卒業生の新しい門出を祝うかのような晴れやかな空の下、東京・九段の日本武道館で挙行され、五千百九十八人の卒業生は大いなる希望と夢を抱いて、それぞれの進路に羽ばたいていった。

竹内学長は式辞の中で「かつては科学技術の進歩は新しい価値を創造するものとばかり信じられていたが、同時に重大な負の価値を創出する結果をもたらすことが認識されるようになった。この事実に思いを致すとき『価値の創造』の判断が今日では非常に難しいものになっている」「判断力を養うには、仮想体験ではなくできるだけ多くの実体験を通して個人の感性を磨く以外にない」「感性を磨くことの中には他者への思い遣りの心を養うことも含まれる。全人類がともに平和で幸福な生活を送るためには、競争と同時に共存の意識を強く持つことが不可欠だ」と語った。

新たな進路へと旅立つ最後の一日、卒業生はそれぞれ卒業証書を授与された後、恩師や級友、ゼミやクラブの仲間との別れを惜しんでいた。社会は変革の時代で卒業生の行く手にもさまざまな試練も予想されるが「実力主義」の伝統を受け継いだ理科大出身者として、さらなる活躍を期待したい。

平成17年度卒業・修了生数一覧

（平成18年3月20日）

学部	学科	卒業生数
理一	数学科	128
	物理学科	93
	化学科	118
	数理情報科学科	103
	応用数学科	36
	応用物理学科	111
	応用化学科	125
	計	714
理二	数学科	147
	物理学科	144
	化学科	166
	計	457
工一	建築学科	120
	工業化学科	109
	電気工学科	130
	経営工学科	93
	機械工学科	102
	計	554
工二	建築学科	73
	電気工学科	91
	経営工学科	63
	計	227
薬学	薬学科	88
	製薬学科	89
	計	177
理工	数学科	108
	物理学科	153
	情報科学科	120
	応用生物科学科	88
	建築学科	105
	工業化学科	139
	電気電子情報工学科	125
	電気工学科	39
	経営工学科	128
	機械工学科	139
	土木工学科	98
	計	1,242
基礎工	電子応用工学科	93
	材料工学科	90
	生物工学科	88
	計	271
経営	経営学科	228
	計	228
学部合計		3,870

研究科	専攻	修士	博士 課程	博士 論文
理研	数学専攻	33	6	0
	物理学専攻	48	5	2
	化学専攻	96	6	0
	理数教育専攻	19	—	—
	計	196	17	2
工研	建築学専攻	43	0	0
	工業化学専攻	47	0	0
	電気工学専攻	60	0	1
	経営工学専攻	37	5	1
	機械工学専攻	40	2	0
	計	227	7	2
薬研	薬学専攻	64	7	5
	計	64	7	5
理工研	数学専攻	9	1	0
	物理学専攻	43	5	1
	情報科学専攻	49	1	0
	応用生物科学専攻	47	8	1
	建築学専攻	71	2	1
	工業化学専攻	72	8	2
	電気工学専攻	81	3	0
	経営工学専攻	61	2	1
	機械工学専攻	55	2	1
	土木工学専攻	25	0	0
	計	513	32	7
基礎工研	電子応用工学専攻	50	2	1
	材料工学専攻	45	2	1
	生物工学専攻	40	5	2
	計	135	9	4
生命研	生命科学専攻	11	3	3
	計	11	3	3
経営研	経営学専攻	14	—	—
	計	14	—	—
経営技術研究科	総合科学技術経営専攻	68	—	—
	計	68	—	—
研究科合計		1,228	75	23

専攻科	専攻	修了生数
理学専攻科	数学専攻	25
専攻科合計		25

学部	3,870
修士	1,228
博士（課程）	75
専攻科	25
大学合計	5,198

*全ての学部、大学院および専攻科において、平成17年9月30日付の卒業（修了）者はいない。
*博士は、課程・論文とも平成18年3月20日付授与者のみ集計。平成17年度博士の学位授与総数は119名。

天にも昇る思いを胸に、宙に舞う

みんないい顔、この日の笑顔を未来へ…

名誉の一瞬…長年の成果、修了証書の拝受

ったサクラが若芽を出しながら待っていた

がすみの中を会場へ…左上は式場の日本武道館＝九段校舎から写す

サクラも待っていた

平成18年度 入学式

講堂を埋めつくした新入生と父母たち

こもごもにお祝いと激励の言葉を述べる塚本理事長㊧と竹内学長㊨

デジタル、ケータイに混じって旧式もあり…カメラの砲列

雰囲気を盛りあげる本学管弦楽団と混声合唱団の演奏

お祝いまんじゅうや出版物も売出し

理窓会だより

今秋「ホームカミングデー」開催

●125周年を祝賀

創立百二十五周年記念事業の一環として、十月八日(日)十時より野田キャンパスを開放して理窓会と理科大との共催で大規模なホームカミングデーを開催いたします。

ホームカミングデーは物理学校創立以来、初めての行事ですが、全国十五万人の卒業生に声をかけ、多彩な催し物を楽しみながら、百二十五周年を祝い、久しぶりの同窓との思いがけない出会い、交流の場とするものです。発展する大学の姿を目の前にして大学と卒業生の絆をさらに深め、全国的な広報活動で大学の社会的認知度の更なる向上も期待しています。

記念式典は薬学部校舎の講堂で挙行し、併せて、卒業後五十年以上を迎える卒業生の懇親会をカナル会館で行います。

記念講演会は学術分野と産業界から、今最も注目を浴びている方々を講師としてお招きします。

森戸記念体育館をアトラクションステージとして著名アーティスト、卒業生アーティストの演奏、トークショーなど楽しいイベントを行います。

屋外には出会いの広場、模擬店などの趣向をこらし同期会、研究室会、クラブOB・OG会のための懇親テントも用意します。

小中学生向けの親子化学実験室も用意します。親子連れの卒業生、近隣地域住民の参加も期待しています。

初めての試みですが、豪華商品を取り揃えた参加券による大抽選会が花を添えます。

全行事への在校生の参加を期待しています。

＊理窓会…本学卒業生が自動的に加入する同窓会。

＊理窓会HPアドレスhttp://risoukai.rikadai.jp/index.html

ココロの健康 ❶

小山 望

さまざまな緊張を解く工夫を

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。四月から新しい環境に入って毎日、緊張した生活を送っていることでしょう。

大学という環境に移って、いろいろな意味で変化を感じたことでしょう。とくに入学を機に、住み慣れた家を離れ、一人暮らしを始めた学生さんは、自分を取り巻く環境が大きく変わって、ある意味でストレスを感じていることでしょう。

今まで親御さんにやってもらっていた食事、洗濯、買い物など、すべて自分でしなくてはいけません。頼れるのは、自分だけです。一人暮らしの魅力はなんといっても自由な生活ですが、それを味わうのには、衣食住など身の回りのことを自分でする生活能力と、周囲の人間と円滑に関わることのできる対人関係能力が必要になります。

私の所属するよろず学生相談室で、新学期のもっとも多い相談は、大学の環境になじめないなどの適応相談です。うまく人とかかわれず、なかなか友達や話し相手ができずに、孤独感を持って大学生活をしている場合などです。新しい環境になじめず、夜も不安で眠れず、精神的に緊張が続くと疲労が蓄積していきます。

緊張を解くには、リラックスした状態を作ることが大切です。ぬるめのお湯にゆっくり入る、好きな音楽を聴きながら食事をする。人と会話をする。自然のあるところを散策する。

野田キャンパスには、川に沿って遊歩道があります。自分がリラックスできる状態を作ってください。そしてなかなか友達ができないときは、遠慮なく学生相談室を訪れてください。人と話をすることは、リラックスにつながります。

（おやま・のぞみ 理工学部教養助教授・臨床心理士・学生相談カウンセラー）

▲ 今年は早々と一斉に開花したサクラが花がすみの中を会

式を終えて直ちに長万部へ向かうため空港行きのバスに乗る基礎工学部の新入生❶と、それを見送る父母たち❷

厳そかな式典の後、本学Ｙｏｓａｋｏｉソーラン部が華麗に祝賀の舞いを披露

わが母校史 豆知識 ❻

●100周年祝う

今から二十五年前の昭和五十六年（一九八一）、本学は創立百周年を迎え、記念式典、学生歌制定など様々な記念行事を開催する。神楽坂キャンパス1号館や野田キャンパス記念図書館も、この百周年記念に建設された建物である。特に記念図書館の設計は、本学卒業生の設計コンペによって選定するという記念行事にふさわしい試みをとった。翌年にはその前庭に、桜並木に囲まれた広大な芝生や、流れにつづく池をもつ大規模な造園工事が施され、キャンパスの風景は一新する。また、創立百周年を機に昭和五十六年には総合研究所を設立し、昭和五十九年には科学教養誌『SUT Bulletin』（現在の『理大 科学フォーラム』）が発刊される。

さらに本学は、昭和六十二年に一年次の教育を北海道長万部で行う基礎工学部を、平成五年には埼玉県久喜市に経営学部を設置する。その後も、生命科学研究所、大学院理学研究科理数教育専攻、情報メディアセンター、計算科学フロンティア研究センター、情報科学研究・教育機構などを設置して、教育研究組織の充実を図り、理工系総合大学として、その地位を確固たるものとしていく。

平成八年（一九九六）度には私大初となる「連携大学院方式」を導入。様々な研究所で働く研究者を客員教授として迎え、学生の研究・教育活動の一層の活性化を図った。また、文部科学省の学術研究高度化推進事業に本学の研究プロジェクトが平成十二年度から毎年採択され、先端材料研究センター、ゲノム創薬研究センター、ナノサイエンス・テクノロジー研究センター、再生工学研究センター、ＤＤＳ研究センターを次々に設置する。

●再構築着手

平成十六年には、狭隘で劣悪な教育研究環境を改善するため、薬学部を神楽坂キャンパスから野田キャンパスに移転する。同時に、神楽坂地区・野田地区の施設設備の再構築が進められることとなる。

平成十五年には、承認ＴＬＯとしての「科学技術交流センター」を設置、また同年には「大学知的財産本部整備事業」の実施機関に採択される。

平成十六年には、父母と大学が密接な連携を図って学生を支援するために、父母会「こうよう会」が発足し、毎年全国各地で父母懇談会を開催するなど、大学と父母が一体となった学生支援活動が行われている。

ここ数年来、日本の幾つかの大学においては、大学経営の財政的健全性を検証するため、いわゆる「格付け機関」による評価が行われている。本学は、米国の著名な格付け機関Ｓ＆Ｐ社に評価を依頼しており、平成十六年から三年連続で「ＡＡ－」（ダブルＡマイナス）という高い格付けを得ている。

●125周年の今

今年、東京理科大学は創立百二十五周年を迎える。

二十一人の創立者たちが掲げた「理学の普及を以って国運発展の基礎と為す」という東京理科大学の建学の理念は、百二十五年を経た今日においてもなお、その意義を失っていないばかりか、益々その重要性を増している。

そして、今われわれは新たなコンセプト Conscience を掲げて、次の百年を考える。「人間と自然のための科学技術の創造」を教育理念とし、科学者・技術者・教育者としての「良心」をもって、科学のあらゆる分野から得た知識を未来の夢の実現へと展開していく。

（おわり）

（『東京理科大学の現状と課題平成16年度版』より抜粋）

さらなる飛躍を目指して

125周年記念事業の一環としてスタートした九段校舎

百周年記念で神楽坂1号館の窓に浮かびあがった「100」の光文字

創立百二十五周年記念事業 寄付者芳名

「創立百二十五周年記念事業募金」にご賛同いただき、ご寄付をたまわった方々のご芳名を掲載します。今回は、二〇〇五年十一月一日〜二〇〇六年一月三十一日までにお振込みいただいた分です。
ご芳名は区分別・金額別・五十音順ですが、区分で重複する方はいずれか一つに掲載させていただきました。

【同窓生】
◇金五百万円
森野　義男様
（累計金参千九百五拾万円）
◇金弐百万円
酒井　陽太様
（累計金弐百五拾万円）
◇金壱百五拾万円
加藤　和詳様
（累計金弐百五拾万円）
◇金壱百万円
天野　久様（累計金参百万円）
島崎益男様（累計金弐百万円）
菅原　俊一様
（累計金弐百六拾万円）
諏訪部充弘様
（累計金弐百万円）
西村和夫様（累計金参百万円）
◇金五拾五万円
渡辺　泰様
◇金五拾万円
安藤治夫様（累計金壱百万円）
石山　清様
（累計金壱百五拾万円）
井上　吉靖様
（累計金壱百壱拾万円）
加藤　敏雄様　上村　直樹様
小西敏治様（累計金壱百万円）
駒井　幹彦様　酒井　淳様
◇金参拾万円
横手治江様（累計金五拾万円）
◇金弐拾五万円
高濱和則様（累計金五拾万円）
◇金弐拾万円
川本英一様（累計金五拾万円）
葛田正雄様（累計金九拾万円）
坂田　八昭様　永塚　博達様
安盛　岩雄様
◇金壱拾五万円
辻　和良様
匿名　一名
◇金壱拾弐万五千円
岡本　公爾様
（累計金弐拾五万円）
◇金壱拾万円
阿部治男様（累計金弐拾万円）
飯澤　徹様　石井　甲一様
石村　園子様　稲葉　健郎様
岩川　廉夫様　内山　幹夫様
大西　克則様　大柳　繁造様
押尾　茂様　加藤　裕一様
金子雄一郎様
（累計金弐拾万円）
苅谷　嵩夫様
神鳥嘉之様（累計金弐拾万円）
工藤　寧様　斉藤　秀子様
坂本　正吉様　佐藤　チエ様
末本　守様（累計金弐拾万円）
菅谷　幹治様　須坂　和晃様
鈴木　猛様　鈴木　俊治様
鈴木　幹久様　高野　京子様
田中理房様（累計金弐拾万円）
玉川　順一様　中條健八郎様
角田智良様（累計金弐拾万円）
藤間　久義様　長岡　寛明様
沼田　佳之様
根本悦朗様（累計金弐拾万円）
長谷川智哉様
（累計金弐拾万円）
林　理様
平出鐵次様（累計金弐拾万円）
廣田　正義様　福田　正様
福田容久様（累計金参拾万円）
藤田　剛二様　古瀬　鉄男様
松丸　由江様　松村　徳二様

万年　勲様（累計金弐拾万円）
森　俊幸様　森西耕一郎様
矢内原勝男様
（累計金参拾万円）
山田建己様（累計金参拾万円）
匿名　八名
◇金七万円
匿名　一名
◇金六万円
水野澄様（累計金壱拾弐万円）
◇金五万円
浅野　晃様　安達　順一様
厚見　全様　渥美　博様
上原　謙一様　大井手幸夫様
奥村弘樹様（累計金壱拾万円）
河鰭　一誠様　川原伊都雄様
菅野　祐一様
菊地輝榮様（累計金壱拾万円）
小池田　稔様　小沼　亮様
小林　充様　斉藤　圭亮様
酒井　俊司様　七里　國之様
篠田　貞行様　志村　紀子様
城市惠行様（累計金壱拾万円）
白濱傳様（累計金壱拾五万円）
鈴木　勝英様　高田　貞二様
高橋　潤子様　高橋　勝様
瀧口　彬子様　立石　定夫様
田中　宏美様　田村　仁様
冨澤　豊様
鳥海　辰雄様
（累計金壱拾五万円）
仲里　恒雄様　中原　洋平様
中村　友道様　縄田　滋則様
西谷ひろ子様　蓮尾　武久様
引田　萬里様
平松　洋様（累計金壱拾万円）
福田　昇様（累計金壱拾万円）
藤村美佐子様
（累計金壱拾万円）
古橋一男様（累計金壱拾万円）
堀越　晴美様　松浦　孝泰様
松岡是治様（累計金壱拾万円）
三宅　章道様　森田　正春様
八巻　由孝様
山崎仁志様（累計金壱拾万円）
山本　修一様　匿名　十名
◇金四万円
高橋　修司様（累計金八万円）
山﨑　祐介様
◇金参万円
伊東千代治様（累計金五万円）
岡崎　忠様　川内陽志生様
菊池　均様
田中　実様（累計金六万円）
谷本　憲彦様（累計金五万円）
月井　武雄様　中村　白様
西村　実三様（累計金五万円）
村上　孝公様
山口　博之様（累計金四万円）
匿名　一名
◇金弐万五千円
山口文夫様（累計金壱拾万円）
◇金弐万円
安部　圭子様
石井　英機様（累計金参万円）
市川　武宜様　王　殿升様
岡﨑　英博様（累計金四万円）
川上　満和様　君塚　正勝様
斎藤　和男様（累計金参万円）
鈴木　清一様
須田　匡様（累計金六万円）
首藤　隆様（累計金四万円）
土田　美廣様
中野　増男様（累計金五万円）
林田　實様（累計金六万円）

山本　修様　吉田　泰士様
◇金壱万五千円
山口　重男様（累計金四万円）
◇金壱万円
新井有希子様
泉田　保様（累計金弐万円）
遠藤　一郎様（累計金五万円）
小川　格様
粕谷　知秀様（累計金弐万円）
久保　卓也様（累計金四万円）
河野　秀昭様（累計金参万円）
後藤　良人様（累計金六万円）
佐藤　高平様
杉山　秋彦様（累計金参万円）
仙波　實様　高橋　秀一様
高宮　英夫様（累計金参万円）
玉置　充様（累計金四万円）
千葉　達司様
富田　桂次様（累計金弐万円）
永井　親家様（累計金弐万円）
中澤　誠様　原　光博様
平田　伸様（累計金弐万円）
星　健一様
山極　時生様（累計金四万円）
山田　浩様　横田　允男様
横山　忠明様　涌井　元三様

【父母保証人】
◇金壱拾万円
川島　京子様　高橋　幸男様
濱井　正明様　宮沢　清二様
吉井　清治様　匿名　一名
◇金五万円
内田　悦嗣様　堤　玲子様
原　芳邦様　藤井　正春様

【一般個人】
◇金壱百万円
長谷川たけよ様
◇金五拾万円
林　力様
◇金壱拾万円
岩下平四郎様
◇金五万円
吉本　典正様

【元教職員】
◇金壱拾万円
杉山俊隆様（累計金弐拾万円）
◇金五万円
明石　和夫様　田中　務様

【教職員】
◇金八百万円
横山和夫様（累計金壱千万円）
◇金壱百五拾万円
長谷川佑子様
（累計金参百万円）
◇金壱百弐拾万円
狩野　紀昭様
（累計金壱百七拾万円）
◇金壱百万円
東　隆親様
塚本桓世様（累計金五百万円）
土谷敏雄様（累計金弐百万円）
原　文雄様（累計金参百万円）
◇金六拾万円
児島　紘様
（累計金壱百六拾万円）
橋本　巖様（累計金壱百万円）
山口　俊和様　山本　栄様
◇金五拾万円
伊藤　滋様　小野寺祐夫様
栗原　良平様
（累計金壱百五拾万円）
菅原二三男様　土屋　律行様
幡野　純様（累計金四百万円）
浜田知久馬様　匿名　二名
◇金参拾万円
青山　隆夫様
池北雅彦様（累計金六拾万円）
石井　康之様
井口　眞様（累計金四拾万円）
蟹江　壽様
上村　洸様（累計金五拾万円）
小出　直之様
（累計金壱百五拾万円）
服部　武志様　匿名　二名
◇金弐拾五万円
河合　武司様　戸嶋　直樹様
千鯛　眞信様
◇金弐拾万円
池田　紘一様
佐々木有朋様
（累計金五拾万円）
鈴木　政雄様　長沢　寿一様
中野　英樹様　西谷　潔様
本間　芳和様　安盛　敦雄様
◇金壱拾五万円
阿部正彦様（累計金五拾万円）
今井　雅幸様
（累計金六拾五万円）
鈴木　康一様
（累計金四拾五万円）
野口　昭治様
渡辺恒夫様（累計金六拾万円）
◇金壱拾四万五千円
匿名　一名
◇金壱拾弐万五千円
藤野　仁三様
◇金壱拾壱万円
大野　紀夫様
◇金壱拾万円
明畠　高司様　吾郷　孝視様
安部　良様（累計金弐拾万円）
新井　孝夫様　奥原　正夫様
柏谷　衛様（累計金五拾万円）
加藤　清敬様　川向　正人様
川村　清様
日下部慧様（累計金四拾万円）
小林　隆夫様　櫻井　雅典様
鈴木　潤三様　沼田　一道様
野村　設郎様
半谷精一郎様
（累計金参拾万円）
東原　美子様
深谷公男様（累計金弐拾万円）
藤代　博記様
（累計金参拾万円）
古川猛夫様（累計金参拾万円）
古谷　賢朗様
町田賢司様（累計金弐拾万円）
松尾　康光様
村田茂夫様（累計金弐拾万円）
山田　俊彦様
（累計金参百弐拾五万円）
山本經二様（累計金弐拾万円）
匿名　十三名
◇金九万五千円
稲坂勤様（累計金四拾九万円）
清水　克彦様
（累計金弐拾参万円）
◇金九万円
菊地正様（累計金参拾弐万円）
眞田　克典様
（累計金弐拾五万円）
◇金八万円
匿名　二名
◇金七万円
匿名　一名
◇金六万五千円
赤上　好様
（累計金壱拾弐万五千円）
上田　昌毅様
（累計金壱拾六万五千円）
◇金六万円
長野　東様
平塚三好様（累計金壱拾万円）
三井田陸郎様
（累計金弐拾弐万円）
桃沢信幸様（累計金弐拾万円）
匿名　二名
◇金五万五千円
谷口　淳様
（累計金壱拾四万五千円）
◇金五万円
大石　尊朗様
恩田　邦藏様
（累計金壱拾五万円）
片岡　寛様　岸本　英博様
倉渕　隆様（累計金弐拾万円）
小室　達也様　小森未奈子様
酒井　吉雄様　坂本　正典様
沢口　末吉様　沢口とよ子様
清水　大様（累計金弐拾万円）
清水　眞様（累計金弐拾万円）
砂合　憲三様
爲我井哲夫様
（累計金参拾万円）
沼隆三様（累計金弐拾八万円）
福田　幸夫様
（累計金壱拾五万円）
藤井　志郎様
（累計金壱拾万円）
星　肇様（累計金壱拾万円）
穂積信道様（累計金壱拾万円）
牧高司様（累計金弐拾五万円）
松野直様（累計金壱拾五万円）
宮川　良男様
（累計金弐拾四万円）
安原　昭夫様
山下輝雄様（累計金弐拾万円）
吉田孝博様（累計金弐拾万円）
渡辺　幸人様
（累計金弐拾五万円）
匿名　八名
◇金四万五千円
岩崎　等様
（累計金壱拾四万五千円）
◇金四万円
加納誠様（累計金参拾壱万円）
宮本　岩男様
（累計金弐拾万参千円）
柳田昌宏様（累計金弐拾万円）
◇金参万九千円
白石　幸英様
（累計金壱拾八万六千円）
◇金参万円
浅野比様（累計金壱拾壱万円）
沖田　武光様（累計金五万円）
菅井繁様（累計金壱拾九万円）
竹村哲雄様（累計金弐拾万円）
龍岡　文夫様
本山好幸様（累計金弐拾万円）
矢島博文様（累計金弐拾万円）
山下正様（累計金八拾弐万円）
吉留　通紀様
（累計金壱拾弐万円）
匿名　三名
◇金弐万五千円
岩館　寛大様（累計金五万円）
茅壁　猛幸様
（累計金壱拾万五千円）
久保寺勝彦様
（累計金七万五千円）
◇金弐万円
石渡恵美子様（累計金九万円）
岡本　哲様　工藤　昭彦様
竹内　裕一様（累計金四万円）
趙　新為様　本間　通正様
匿名　一名
◇金壱万九千円
赤澤　豊信様
（累計金七万五千円）
髙橋　正一様
（累計金七万五千円）
◇金壱万五千円
中村　一夫様
（累計金六万五千円）
匿名　一名
◇金壱万四千円
臼井恵美子様
（累計金壱拾万円）
◇金壱万円
石田　和弘様
尾形　猛様（累計金弐万円）
河村　洋様（累計金五万円）
菊池純一様（累計金壱拾万円）
小園　晴生様
斉藤　真一様（累計金五万円）
鈴木　健嗣様
巻田悦郎様（累計金壱拾万円）
正木　舞様（累計金弐万円）
松田　大様（累計金四万円）
匿名　二名
◇金七千円
天沼　秀夫様
◇金六千円
伊藤　享子様
（累計金参万七千円）
匿名　（累計金参万四千円）
一名（累計金参万円）
◇金五千円
平田　讓二様

【法人】
◇金参千万円
株式会社竹中工務店様
◇金五百万円
ダイダン株式会社様
匿名　一社
◇金弐百五拾万円
株式会社熊谷組　首都圏支店様
◇金弐百万円
東京シリコーン株式会社様
（累計金四百万円）
◇金壱百万円
株式会社シーマエンジニアリング様
（累計金弐百万円）
日本分光株式会社様
財団法人吉田育英会様
株式会社ブリヂストン様
株式会社日本レジストリサービス様
味の素株式会社様
◇金五拾万円
医療法人ゆりのき医院様
（累計金壱百万円）
◇金弐拾五万円
極東製薬工業株式会社様
梶原電工株式会社様
（累計金五拾万円）
◇金壱拾万円
測機社千葉サービス株式会社様（累計金弐拾万円）
エクセルテクノロジー株式会社様
浜田商事株式会社様
◇金五万円
株式会社全日警様

【団体】
◇金四拾四万七千円
阿武・吉本研究室様
相本　亮様　甘利　浩一様
阿武千鶴子様　井伊谷　隆様
池谷　聡様　石井　哲夫様
石川　美貴様　伊藤　公博様
伊藤　幸夫様　岩佐　知厚様
岩田　純一様　内田　貴幸様
大島　居英様　大塚　潤一様
大橋　哲洋様　尾崎　友彦様
小澤　浩様　小沼　良成様
折目　匡哉様　風戸　昭人様
片岡　一洋様　釜田　弘様
川上　耕司様　菊地　良紀様
小坂　哲也様　小髙　陽様
近藤　武士様　斉藤裕美子様
佐藤　淳様　佐藤　輝男様
志村　知廣様　寿命　大輔様
菅沼　直希様　杉山　真人様
関口　治久様　髙岡　歩様
髙橋　政則様　嶽澤　一彰様
竹田　青芽様　田島　大輔様
田中　隆康様　田中　拓様
田村　真人様　鶴田　篤史様
冨永　潤様　長崎　洋平様
長田　智孝様　中村　太一様
鍋島　淳男様　沼田　哲哉様
服部　聡志様　浜辺　秀典様
日向　一郎様　日吉　健治様
平坂　仁志様　福田　征一様
堀内　亮吾様　松村　吉晃様
松田　浩明様　宮嶋　純様
宮本　春樹様　村田　浩司様
森　清二様　矢田　英明様
山寄登志夫様　吉岡　真様
◇金四拾弐万円
工学部建築学科松崎研究室OB会様
濱田　真様　阿部　潔様
阿部　哲也様　磯　雅人様
稲永　英治様　岡田　健良様
小槻　雅人様　金子　裕一様
唐崎　裕至様　河本　孝紀様
木村　博様　黒川　裕介様
黒須三千代様　腰原　聖子様
小林　淳彦様　小森　淳様
清水　通様　新具　誠次様
杉山　智昭様　鈴木　淳様
鈴木　英之様　高坂　信様
髙橋　啓様　髙橋　稔宏様
竹内　正宏様　立平　敏浩様
田中　秀宣様　坪田　修士様
直井　瑞樹様　中澤　春生様
中野　克彦様　平山　明様
福本　晃治様　福山　洋様
舟山　勇司様　星野　克征様
本間　博行様　南　尚吾様
山本　隆様　山本　泰宏様
良峯　秀彦様　渡辺　聡様
◇金参拾万円
四葉・木ノ芽会（化学第四研、工化木島・分島研）様
理窓会神奈川支部様
黒崎　弘康様
◇金弐拾五万円
S23年卒応物クラス会一同様
和井内哲夫様　秋元　敬治様
秋山　忠男様　阿部　照雄様
伊藤　博也様　井上　文雄様
上野　美房様　江沢　正様
大橋　順吉様　大橋　幹雄様
小笠原剛介様　香取　俊雄様
蒲生　勇三様　河村　英雄様
佐藤　文次様　城田　勇様
末木　地久様　鈴木　茂様
髙橋　正次様　長谷　鉚三様
名達　三郎様　林　典男様
古沢　平夫様　前田　窕様
村松　樹郎様
◇金壱拾八万五千円
理窓会広島支部及び教育会広島支部様
羽田　啓二様　青木　淳様
出井　啓允様　岡本　雅典様
久保　元成様　熊本　乗久様
栗田健太郎様　清水　敏樹様
菅原　基治様　平　逸雄様
場田　克己様　濱西　正明様
原田　重穂様　久岡　正敏様
本多　立憲様　前　真一郎様
松浦　明治様
◇金壱拾五万五千円
東京理科大学　数学教育研究会様
（累計金参拾参万円）
澤田　利夫様　北邑　一惠様
瀧本　玲子様　宮部　智哉様
◇金壱拾五万壱千円
東京理科大学理工学部機械工学科昭和47年卒業クラス会様
（累計金壱拾七万壱千円）
杉崎　憲夫様　青山　秀様
池田　勇次様　伊藤　高英様
井上　一久様　岩佐　基祥様
大津　良春様　小野寺信夫様
神代　光人様　粉川　恵仲様
小林　茂様　小山　輝男様
酒井　隆雄様　菅谷　和雄様
高島　義典様　橘　修一様
圓谷　久雄様　前澤　孝一様
山本　英俊様　吉田　和平様
吉田　信昭様
◇金壱拾五万円
II部サッカー部OB会様
◇金壱拾弐万五千円
るつぼ会様
吉田　光孝様　天海　偕子様
飯塚惣一郎様　石井　閑子様
泉　光夫様　市村　敏様
内山　英樹様　梅宮　英治様
榎本　康信様　大久保　清様
小川　正和様　鬼沢　伸昌様
小野　敏行様　海瀬　益男様
片江　勲様　加藤　忠幸様
加室　仁様　小島　保彦様
小松　静子様　小松　庸夫様
今野　和義様　佐藤　利明様
佐藤　弘幸様　首藤　郁夫様
鈴木　幹夫様　関川　京三様
平　定夫様　高木　秀一様
髙橋　和雄様　田口　泰弘様
丹波　次郎様　月井　武雄様
中宿　元一様　中原　弘勇様
西方　宏之様　橋本　義雄様
花井　恒雄様　浜田　正敏様
林　彰様　星野　忠雄様
松岡昭四郎様　牟田口眞子様
山本　幹夫様　吉川　敏夫様
◇金壱拾弐万円
渡辺・常盤研究室同窓様
渡辺　恒夫様　小林　正直様
佐藤　禎一様　渡辺　徹様
◇金壱拾壱万五千円
東京理科大学理窓会信州支部様
（累計金九拾壱万円）
荒谷　功機様　伊佐治正幸様
石澤　育博様　植原　操様
奥原　敏夫様　笠原　俊介様
沓掛　浩一様　田中　誠様
寺澤　誠様　西村　孝様
林　茂十郎様　丸山　健一様
◇金壱拾壱万壱千壱百壱拾壱円
東京理科大学事務職員平成15年度同期様
髙橋　由江様　新井　光代様
川澄　摩弓様　鍛　裕也様
是澤　美樹様　坂尾久美子様
櫻田真知子様　甚田　みか様
春原　美穂様　西谷　憲二様
正木　舞様　三宅　雅晴様
柳岡　亮様
◇金壱拾壱万壱千円
21世紀の会様
三澤　昭様　猪野　修治様
加納　誠様　田井　正博様
◇金壱拾万六百円
融和会（森谷・土谷・西尾研究室OB会）様
◇金壱拾万円
東京理科大学少林寺拳法部OB会様
東京理科大学バスケットボール部OB会様
大熊　金雄様　秋谷　正浩様
安達　司様　天野　賢一様
五十里武史様　石川　明彦様
石原　康弘様　井上　純一様
今田　高志様　植村　和人様
薄井　智様　榎本　皓平様
遠藤　敬一様　大江　忠夫様
大野　忠一様　小笠原仁夫様
岡本　満様　沖　俊介様
甲斐慎一郎様　加賀美久高様
樫村　赫昭様　金谷　守様
金子　修様　兼平　薫様
川本　正則様　神田　寛様
菊本　正紀様　北　誠の助様
北川　裕高様　北村　吉治様
木村　博貴様　清岡　智様
久米　邦明様　黒木雄一郎様
高坂　朋寛様　後藤　敏治様
小浜　治様　小山　東光様
坂田　健治様　佐々木幸司様
沢田　哲夫様　三摩　勝巳様
下島　明夫様　新　勉様
瀬尾　巌様　高野　俊吉様
高野　正幸様　髙橋　孝太様
髙橋　恒正様　武井　宏様
竹腰　典弘様　竹中　央様
田代　英久様　舘　親明様
立川　巌様　田中　昭重様
伴野　高虎様　中川　利久様
中川　雅夫様　中込　武夫様
中里　博人様　中島　俊夫様
長島　秀行様　中島　恭郎様
中林　辰美様　中村　一治様
中村　利之様　名沢　博行様
西畑　公弘様　西村　和夫様
端谷　直也様　福羅　和雄様
藤井　誠様　星野　孝士様
細井　健一様　牧野　真憲様
松田　義久様　松本　拓也様
森井　惇雄様　森田　武様
森本　功様　箭内　正孝様
山際　恒治様　湯本　正樹様
横山　良博様　横山　衛様
吉川　栄一様　吉原　稔様
鷲田　吉秀様　渡辺　昌様
林健児研究室OB会有志様
八巻　直一様　赤井　孝司様
浅子　弘美様　石渡恵美子様
井手　正様　伊東　薫様
生形　直也様　大西　和栄様
小笠原英穂様　奥山　一幸様
小澤三千雄様　加藤　馨子様
金成　好章様　川村　武司様
北川　道子様　木下　恂様
栗原　義昭様　小西　秀治様
作道　清行様　進士三千男様
鈴木　勝様　髙橋　生宗様
髙橋　尚志様　髙橋　俊彦様
竹原　久人様　立花　志明様
中野　拡二様　新倉　利男様
馬場　辰男様　林　宏典様
東田　幸樹様　藤田　昱也様
堀川　宗男様　宮田　雅智様
森田　昌宏様　矢部　博様
山口　裕司様　山下　正様
山谷　八英様　和田　雅美様
マツダ株式会社理窓会様
41E・じんろく会様
理窓技術士会運営委員会有志様
渡邊　一郎様　稲田　聡様
尾高　俊彦様　柴田　義文様
高尾　敏弘様　橋本　隆様
三澤　昭様　吉川　孝様
理窓会群馬支部様
理窓知的財産クラブ様
（累計金弐拾七万円）
◇金六万円
山田　益男様
東京理科大学理窓教育会東京支部様
（累計金壱拾七万円）
伊藤　操様　酒井　淳様
理窓光学会様
（累計金壱拾弐万円）
◇金四万八千七百弐円
東京理科大学日留学生交流会様
◇金参万八千円
理窓スマッシュ会様
（累計金弐拾五万九千円）
臼井　満様　大森　伸悟様
大森　民雄様　細井　肇様
◇金参万円
理窓会福岡支部様
（累計金壱拾六万五千円）
辻　幹男様　筒井　裕芳様
◇金弐万円
1部軟式庭球部OB会様
（累計金四万壱千円）
小玉研究室卒業者会（KOLC）H17有志様
岡野　充様　清水　隆夫様
（累計金壱拾六万円）
24応物会様
小針　治美様
理窓卓球会（体育局卓球部OB会）様
丸　弦平様　望月　陽様
（累計金壱百参拾万円）
◇金壱万七千五百円
応用物理学科昭和48年卒業有志様
大山　裕司様　元岡　満雄様
◇金壱万五千円
理窓企業人会周年募金（05年会員一同）様
（累計金八拾壱万五千円）
大野　凛様　本澤　忠吉様
◇金壱万円
小玉研究室卒業者会（KOLC）H18有志様
川嶋　正捷様
700K会（昭和31年化学科卒）様
宇田川文良様

○入金額
［個人］六千八百参拾四万五千円（四百七名）
［法人］五千弐百壱拾万円（十八社）
［団体］四百弐拾万九千九百壱拾参円（三十六団体）

○寄付総額
（二〇〇三年十一月一日〜二〇〇六年一月三十一日）
［個人］四億五千壱百壱拾九万五千七百八拾六円（二千六百六十七名）
［法人］参億四千七拾万円（百四十二社）
［団体］壱千八百弐拾八万五千参拾四円（百十三団体）

問い合わせ先
東京理科大学周年募金事務室　TEL〇三・五二二八・八七二三／FAX〇三・三二六〇・四三六三
＊e-mail:125shunen@admin.tus.ac.jp
＊URL:http://www.tus.ac.jp/125/

諏訪東京理科大学 News

〒391-0292
長野県茅野市豊平五〇〇〇―一
☎０２６６・７３・１２０１（代表）
http://www.suwa.tus.ac.jp/

晴れの１期生269人

祝！ 第１回学位記授与式

三月二十三日（木）に諏訪東京理科大学第一回目の学位記授与式が、茅野市民館で挙行された＝写真。システム工学部電子システム工学科八十一人、機械システムデザイン工学科八十九人、経営情報学部経営情報学科九十九人の計二百六十九人が、学位記を授与された。重倉祐光学長は「自分を信じ、自信を持って物事に当たってほしい。金銭のために働くことなく、矜持は常に高く持っていただきたい」と祝福の言葉を贈った。

卒業生総代の電子システム工学科松澤俊一さんは謝辞で「これからの社会は、思いもかけないもの同士が融合し、新しい社会構造を形成する、複雑で難しいものになろうとしているが、今まで学んだことを活かす絶好のチャンスとして、何事にも積極的に取り組んで行きたい」と述べた。

最後に、本学ＪＡＺＺ研究会の伴奏で全員で校歌を斉唱し、式を終了した。

平成18年度 入学式

四月六日（木）に平成18年度入学式が挙行された。本年度入学生は、システム工学部電子システム工学科七十三人、機械システムデザイン工学科八十三人、経営情報学部経営情報学科百十七人の計二百七十三人であった。同時に本学大学院の初の入学式が挙行され、修士課程二十四人が入学した。

「知」の力を常に磨く

新入生諸君へ　学長　片岡　寛

新入生の皆様、入学おめでとうございます。諸君は本学の第五期生ですが、完成年度後初の入学者です。本年三月、初の卒業生が、九八％を超える就職内定率の成果を持って社会に羽ばたいていきました。本学に入学された諸君もこの成果を受け継ぐよう、勉学に励んでいただきたいと存じます。

本学は、経営と工学の融合による技術の産業化に対応できるセンスと能力を磨いた新しい人材を社会に送り出すことを基本理念にした特別な教育目標を持った大学として発足し、今日に至っております。諸君たちが卒業する四年後には社会はさらに技術のわかる経営者、市場動向に敏感にアンテナを張れるセンスを持った高度な技術者がさらに求められることと思います。

本学は法人東京理科大学と一体となった大学であり、東京理科大学は本年、創立百二十五周年の記念すべき年に当たっております。このような歴史と伝統に培われた研究教育の実績が本学の教育にも十分生かされ、東京理科大学との強い連携の中で大きな成果を勉学の面で挙げていただけるものと思っています。

現代は変化の激しい時代です。学んだ知識や技術が長く通用できるとは限りません。学んだ知識や技術を基礎にしつつも、変化に対応したものに自ら作り変えていく能力が重要となります。自らの「知」の力を常に磨き続けることが大切になります。そのような学びを本学での四年間で築き上げていただきたい。

自然環境に恵まれ、歴史と文化に囲まれ、しかも諏訪という類まれな産業集積による全国や世界への技術成果の発信基地でもある茅野に立地した本学で、大きな夢を膨らませる大学生活をスタートさせていただきたいと願っています。

上々の就職・進学内定率

1期生

短大から四年制大学に改組転換後、初の卒業生を社会へ送り出した。進路内定率は全体で九八・一％、そのうち就職内定率は九八・一％、進学内定率は一〇〇％であった（三月三十一日現在）。

学部卒業生二百六十九人のうち、就職者数二百九人の就職先は長野県内企業が最も多く全体の約七五％を占めており地元企業への定着率が高かった。業種別ではシステム工学部は製造業が約半数を占め、次いで情報通信業、運輸業に決定。経営情報学部は製造業が占める割合はシステム工学部ほど高くなく、卸売・小売業、サービス業、情報通信業、金融・保険業など、幅広い分野に決定した。

平成17年度学生表彰 3人と3団体

課外活動で優秀な成績・功績のあった個人、学生団体を表彰する平成十七年度学生表彰の対象者、団体が決定した。学生部長表彰一人、功労者二人と二団体、奨励賞一団体。表彰式は四月十四日（金）に実施された。受賞者、団体は次のとおり（カッコ内は所属団体）。

▽学生部長表彰：矢崎晴彦（硬式テニス部）▽功労者：宮田琢視（卓球部）、宮下雄飛（情報コミュニティ部）、ロボット研究会、大道芸研究部▽奨励賞：環境デザイン研究会

また、進学者数四十四人は今春四月に開設した本学大学院へ二十三人、東京理科大学大学院へ五人、そのほか東京工業大学大学院をはじめ国公私立大学大学院へ六人が進学した。

就職氷河期と言われた頃から学生の資質向上が課題となっていたが、本学では体系化した就職支援を行ってきた結果、高い就職率に繋がったと思われる。本学の「工学と経営学の融合教育」が第一期卒業生によって高く評価されていくことを期待したい。

山口東京理科大学 News

〒756-0884
山口県山陽小野田市大学通一―一―一
☎０８３６・８８・３５００（代表）
http://www.yama.tus.ac.jp/

平成18年度 入学式

桜満開の中、平成18年度入学式が４月９日（日）に山陽小野田市民館で開催された。本年度は、基礎工学部電子・情報工学科57人、物質・環境工学科50人、大学院修士課程23人、博士後期課程３人、計133人の新入生を迎えた。

満足度を高める学生支援と学生への要望

新入生諸君へ　学長　土谷　敏雄

自分の希望を満たし、将来の目標を掲げ難関を突破されて入学された新入生の皆さん、誠におめでとうございます。

学生諸君は、大学を「多様な体験の場」として、友達関係を重視していることが分かっています。特に、新入生の場合、自分の「居場所」が大学生活を左右していると考えられます。この中で学内におけるコミュニケーションが、在学効果を上げています。

学生の満足度に最も直結するのは、教員の講義や学生指導等に対する熱意と情熱であると思っています。大学では学生諸君が、出来るだけ部やサークルに入り活動によって知る組織と自分の役割を身に付けることが大変に重要であると考えられます。

また、学生諸君に魅力を感じさせる様々な授業、部、サークル、行事、イベント、講演会等の活動空間が多く提供され、学生の選択が広いことも重要であると思います。さらに、自分自身の満足度を高めていくためには、人生経験を生かしながら、より良い学び方、生き方、働き方を実現していくキャリアデザインが大切になるでしょう。

今後、求められる人材として重要なポイントとして、一つは問題を見つけたり、解決したり、或いは専門的な知識を身につけるとき、どんな仕事にも必要な基礎になる能力、コミュニケーション能力を身につけることが大切であり、早いうちに自分の進むコア・キャリア（核になる道・仕事）を見つけ、その上、十分な専門的能力を身につけて欲しいと願っています。

就職内定率最高 99・1％

平成17年度

平成十七年度の就職内定率が、過去最高の九九・一％を達成した。地域別の就職状況は別表のとおりである。表は内定者の出身都道府県と内定先企業の本社所在地との関係を、内定者数で集計した。出身地からどのように内定先企業の所在する地域に移動するかを示している。

顕著な特徴としては、まず約半数（百十二人中五十五人）の学生が関東圏に就職していることが挙げられる。昨年の関東圏への就職率も四六・二％に達しており、この傾向は以前から続いている。理由としては、多くの企業が本社を関東圏に置いていることや、就職者数の多い情報関連企業が首都圏に集中していることが考えられる。

次に、全体の就職者数（前年度六十七人、十七年度百十二人）の増加に伴い、出身地へのUターン就職が僅かだが増えているのが判る。また、初めて本学で受け入れた留学生二人が内定を得たことも注目できる。

本学では、内定者の多い首都圏で就職活動をする学生の経済的負担を軽減するために貸切バスを東京まで運行することを計画すると共に、出身地を優先する生き方を選択する学生に求人情報が提供できるように、有力な地方企業との関係づくりにも継続して力を注いでいる。

● 平成17年度 地域別就職状況

（単位：人）

出身地＼本社所在地	九州沖縄	中国	四国	近畿	中部	関東	計
九州沖縄	8（5）	5（2）		2（1）	4（1）	21（10）	40（19）
中国	2（0）	24（16）		2（3）	（1）	22（14）	50（34）
四国			（2）	（1）		1（2）	1（5）
近畿	1（0）			4（3）		3（1）	8（4）
中部					2（1）	1（1）	3（2）
関東						7（2）	7（2）
北海道東北				1（0）		（1）	1（1）
外国（中国）	1（0）				1（0）		2（0）
計	12（5）	29（18）	0（2）	9（8）	7（3）	55（31）	112（67）

※（ ）内は16年度の実績／北海道・東北への就職はゼロ

山陽小野田市と連携協定

幅広い事業で一層の交流推進

本学と山陽小野田市との包括的連携協定調印式が二月二十三日に山陽小野田市役所で行われた。

調印式では、協定に至るまでの経過説明の後、山陽小野田市関係者、大学関係者が多数見守る中、山陽小野田市の白井博文市長と本学の土谷敏雄学長がそれぞれの協定書に署名・交換し、固い握手が交わされた。

この協定は、これまで培ってきた信頼関係と実績を基盤に、より緊密かつ組織的な体制を構築し、地域の発展に貢献することを目的に締結されたもので、地域の学校教育や生涯学習の振興など連携強化を図るものである。調印後の挨拶で学長は「今回の協定を踏まえ本学ではさらに小中学生の皆さんに科学の面白さを体験してもらうため、楽しい実験や講義などを交えた取り組みを推進していきたい。また、市民の皆さんとも講演会や講座等の生涯学習事業を通して、一層の交流を深めたい」と述べた。

◇主な連携協力事項 ▽小中学校児童生徒の特別科学体験事業▽市民への生涯学習（情報教育）支援事業▽インターンシップ支援事業▽文化講演等各種講座交流事業▽図書館機能の共有化推進事業▽スポーツ分野の交流事業など

日本学術振興会特別研究員7人
ポストドクトラル研究員に16人

採用内定

平成十八年度の日本学術振興会特別研究員が発表され、本学から七人が採用内定した＝別表。この制度は、日本学術振興会が優れた研究者に対して研究奨励金を支給する制度。四月の採用後、国公私立大学や大学共同利用機関、国公立研究機関などで研究に従事する。

また、本学では本学配分予算（学長扱重点共通経費予算等）により雇用できる本学独自のポストドクトラル研究員（PD）採用制度を平成十五年度から設けている。

PD制度とは、本学が行う研究プロジェクトを遂行するために必要な、豊かな研究経験を有する国内外の多様な人材を受け入れることを目的としている。平成十八年度のPDは、別表の通り十六人が内定した。

＊

右の二つの研究員に内定した三人に研究内容と抱負を伺った。

● 平成18年度日本学術振興会特別研究員採用内定者 ●

	氏　名	研究指導教員
DC2	塚原　隆裕	理工・機械 河村　洋 教授
DC2	竹内　亮	理工・応生 坂口　謙吾 教授
DC2	谷口喜一郎	基工・生物 松野　健治 教授
DC2	一戸　猛志	基工・生物 佐多徹太郎 客員教授
DC2	赤坂　昌保	基工・材料 高梨　良文 教授
DC1	岩瀬　顕秀	理一・応化 工藤　昭彦 教授
DC1	黒田　貴一	工一・工化 林雄　二郎 教授

DC2:博士後期課程第2・3年次／DC1:博士後期課程第1年次

● 平成18年度本学予算によるポストドクトラル研究員採用内定者 ●

PD氏名	申　請　者
中田　健也	理一・応化・椎名　勇 助教授
Qiyin Chen	工一・工化・林　雄二郎 教授
Wolfram Bauer	理工・数学・古谷　賢朗 教授
北川友美子	理工・数学・立川　篤 教授
林　晃之	理工・応生・朽津　和幸 助教授
来須　孝光	理工・応生・朽津　和幸 助教授
Veerapat Tantayakom	理工・工化・阿部　正彦 教授
内海　重宣	理工・工化・酒井　秀樹 助教授
鈴木　宗泰	理工・電情・竹中　正 教授
Lalana Kongsukprasert	理工・土木・龍岡　文夫 教授
奥村　高志	基礎・生物・松野　健治 教授
Yu Mei	経営・経営・井上　洋 教授
加藤　吉康	総合研・築山　光一 教授
朴　相俊	総合研・若松　孝旺 教授
尾崎　文宣	総合研・若松　孝旺 教授
與五沢里美	生命研・北村　大介 教授

日本学術振興会特別研究員・ポストドクトラル研究員　内定者に聞く

PD研究員に内定して
理大発新薬候補化合物の研究

理一・応用化学科 椎名研究室　中田　健也

Q1　どのような研究をしていますか？

――私は、タモキシフェン（乳がん治療薬）の類縁体であるリダイフェンについて研究を行っています。リダイフェンは理科大で開発された新薬候補化合物の一つで、そのネーミングからも理科大発の化合物であることがお分かりいただけることと思います。タモキシフェンやリダイフェンはがん治療以外にも、リュウマチや骨粗鬆症の治療薬として期待されている他、分子構造を変換することにより光学材料あるいは高機能触媒としての利用も可能です。私はこれらの開発を並列的に進めており、ぜひともポスドク在任中に新しい成果をまとめ上げたいと考えています。

Q2　なぜ本学のポスドク研究員に応募しましたか？

――近年、ますます科学の研究領域はその境界がなくなり、研究者に総合的な知識が求められてきていると思います。そのために複合的な研究テーマに取り組むことは非常に重要なことであると考えます。まさに、上述のテーマは私の専門である有機化学を基にして医薬、工学に発展するものといえます。これらは理科系の最高峰の総合大学の一つである理科大でこそ達成できるものと思い、本学のポスドク研究員を志望しました。

Q3　今後の抱負や目標、後輩達へのメッセージを教えてください。

――ポスドク在任中、積極的に新しいことに挑戦し、研究の幅を広げていきたいと思います。これまでの私の経験ですが、実験中に予想外の結果に身震いするようなことが何度かありました。そのような経験を一人でも多くの学生に体験してもらい、実験化学の面白さを感じてもらえるように手助けし、私自身ももっと味わっていきたいと思います。また、研究室生活で実験も大切ですが、つまずくこともあると思います。そんなときメンバーみんなが助け合えるよう普段から挨拶のある場にしたいと思います。

PD研究員に内定して
「乱流」解明に世界最大級計算

理工・機械工学科 河村研究室　塚原　隆裕

Q1　どのような研究をしていますか？

――従来、解明が難しいとされてきた乱流現象に対し、所属研究室ではスーパーコンピュータを用いた数値的解析を進めています。私の研究は世界最大級の大規模計算であることが特徴で、流れの基礎方程式を数値的に解き、計算機上で乱流を再現し、壁乱流（固体壁付近の乱流）の諸現象の解明や層流遷移の予測を行っております。乱流⇔層流の遷移は、摩擦抵抗の増減等に関わる重要な問題です。同時にその壁乱流における熱輸送・伝熱特性を解析することで、熱交換器や冷却フィン等の伝熱（フィン）効率向上を目指した設計に応用すること（乱流モデルの構築）ができます。

Q2　なぜ特別研究員に応募しましたか？

――今まで以上に研究に集中し、さらには国際的な場（国外の学会や海外学術誌での発表）で広く研究成果をアピールしていき、自立した研究者としての経験を重ねていくために特別研究員に応募しました。また、研究費用としての科学研究費補助金を自分の研究計画に則って運営していくことは、一人前の研究者を目指すために必ず良い経験になると思いました。

Q3　今後の抱負や目標、後輩達へのメッセージを教えてください。

――外国や他人の研究の後追いや発展的なものではなく、特別研究員としての自覚と自信を持ち、独創的な研究を心掛けていきたいです。そして、今後も国際学会講演や論文発表を精力的に行い、乱流分野で不可欠な人材としてのレベルに達せるよう努めます。

後輩達へ――ぜひ、国内外の学会で発表をしてください。一流の研究者に会うことで、学問の面白さを実感し、研究に対する熱意をより一層増すことができます。

PD研究員に内定して
サブリーマン多様体の究明を

理工・数学科 立川研究室　北川　友美子

Q1　どのような研究をしていますか？

――広くいうと微分幾何学を研究しています。現在は、おもに、サブリーマン多様体の研究ですが、リーマン幾何学における球面定理や比較定理、多様体の崩壊の問題にも興味があります。リーマン計量が、多様体の接空間全体において与えられているリーマン多様体にたいして、サブリーマン多様体というのは、計量が接空間の部分空間にのみ与えられているという、特殊な空間を言います。リーマン幾何とサブリーマン幾何のそれぞれにおける現象の比較は非常に興味深いと思います。

博士論文では、等質なサブリーマン多様体の無限小自己同型の分類結果をまとめました。また、サブリーマン多様体上の測地線について、カルタンの空間と呼ばれる5変数の空間における具体例を計算しました。測地線の様子は、リーマン幾何とサブリーマン幾何の現象の違いが顕著に現れる良い例でした。これからは、サブリーマン多様体上のラプラシアン（サブラプラシアン）など、解析的な要素の強い問題を具体的に計算しながら見識を深めたいです。それに必要な技術も身につけて行きたいと思っています。

Q2　なぜ本学のポスドク研究員に応募しましたか？

――東京理科大学の理工学部には、指導教授の立川先生をはじめ、わたしの興味がある幾何学、解析学のスペシャリストの先生がたくさんおられます。また若い活発な研究者の方ともいろいろ遠慮なく議論ができる雰囲気とのことで、これからの新しい分野を研究するのにとても良い環境だと思いました。院生の方とも交流が持てるとのことでしたので、良い刺激になるのではと期待しています。皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

Q3　今後の抱負や目標、後輩達へのメッセージを教えてください。

――新しいことがいろいろと学べるといいなと思っています。今まで住んでいた関西を初めて離れるので少し不安もありますが、せっかくのチャンスなので新鮮な気持ちで、生活も研究も楽しめたらと思います。がんばります。

本学法人全体は35億9700万円
平成17年度私学助成　総額で30億円増（前年比）

日本私立学校振興・共済事業団は平成十七年度の私立大学・短大・高専に対する補助金交付状況を発表した。

東京理科大学では、三十二億三千八百万円、山口東京理科大学は二億四百万円、諏訪東京理科大学は一億五千五百万円で学校法人全体では三十五億九千七百万円となった。

全国の私立学校に対する補助金総額は、前年度より約三十億円増（〇・九％）の三千二百三十九億円であった。補助金が交付された大学は十校増え、五百十二校となり、一校あたりの交付額は二百十五万円減の五億七千五百万円であった。また学生一人当たりに換算すると十六万六千円となり昨年度と同額であった。

● 平成17年度私大補助金交付額　上位20校 ●

（　）内の数字は前年度順位／単位億円

❶	(1)	日本大	125.8
❷	(2)	早稲田大	101.6
❸	(3)	慶應義塾大	93.5
❹	(4)	東海大	67.5
❺	(5)	立命館大	51.8
❻	(7)	近畿大	45.0
❼	(8)	昭和大	43.5
❽	(6)	北里大	43.2
❾	(11)	中央大	38.3
❿	(9)	明治大	38.1
⓫	(14)	順天堂大	37.9
⓬	(13)	同志社大	36.8
⓭	(12)	東京女子医科大	34.6
⓮	(10)	東京慈恵会医科大	34.0
⓯	(17)	関西大	33.0
⓰	(16)	東京理科大	32.3
⓱	(20)	久留米大	28.7
⓲	(21)	法政大学	28.1
⓳	(22)	福岡大学	27.7
⓴	(15)	日本医科大	27.3

理数系教員養成で意見交換
米下院スタッフら3氏が来学

左から伊藤教授、Hermann氏、Koolbeck氏

一月十二日、本学神楽坂校舎にRush Holt米国下院議員の政策担当スタッフDeborah Koolbeck氏、在日米国大使館科学・技術・環境部の科学担当書記官David Hermann氏、上級科学担当スペシャリスト神立景子氏の三人が来学し、小中学校の理数系教員の養成に関する問題を中心に、高等教育機関が抱える諸問題について、意見交換を行った。

現在、米国では初等中等教育、特に理数教育に携わる教員の質の低下が問題となっている。この改善策を探る一環として、来訪されたものである。

本学からは、伊藤稔・理工学部教授（国際交流委員会委員）、溝口忠憲・国際交流担当顧問、曽雌敏夫・国際交流課長が出席。本学は設立時から「理数系教員の養成大学」として社会的責務を果たしてきていること、現在も中学・高校の理数系教員の養成に特段の配慮をしていること、毎年多くの卒業生が中学・高校の理数系教員として採用されていることなどを説明。日米の「教員養成」の違いなどについても意見交換を行い「米国の初等中等教育の改善策を考える上で大いに参考になった」と満足された様子だった。

一月三十一日に米国議会で行われた一般教書演説の中でブッシュ大統領は、新たな競争相手である中国やインドに対抗する力をつけるため、基礎科学研究の拡充や理数系教師の七万人採用など、科学技術分野での底上げを狙った「競争力構想」を打ち出した。基礎研究・教育拡充というこの政策は理数系離れに危機感をもった米国が、教育・人材育成に目を向けた施策を展開することが窺える。

東京理科大学の公開講座

2006年度春夏期 受講生募集中

学生から一般の方までどなたでも受講できます

◆ **一般講座** ～日常に役立つ様々な知識を知るための講座です～
【科学・技術】鉄道、科学教室(大人対象、親子対象)
【美容・健康】食による予防医学、漢方講座
アンチエイジングシリーズ(歯、毛髪、肺)
【経　　営】身近ＯＲ－株の売買と待ち行列－
【生活・文化】シリーズ神楽坂学(切絵図編)、浮世絵、子どもの教育

◆ **資格取得試験対策講座** ～各種資格試験の対策を行います～
アクチュアリー試験、気象予報士試験、A・F・T色彩検定
公害防止管理者試験、危険物取扱者試験、TOEICテスト 等

◆ **専門実務講座** ～仕事で役立つ様々な専門知識を見につける講座です～
MOT・ＭＩＰ大学院エッセンス講座、環境マネジメント
Excelを用いた科学技術計算、3D-CAD/CAEセミナー 等

理科ぃしませんか!?
東京理科大学生涯学習センター Extension Education Programs
ニュートンはリンゴが樹から落ちるのを見て、重力を発見しました。
大切なのは興味のアンテナを常に広げていること。
「わからないこと」を「わからない」ままにしておかない。
…たったそれだけで、新しい何かを発見できます。

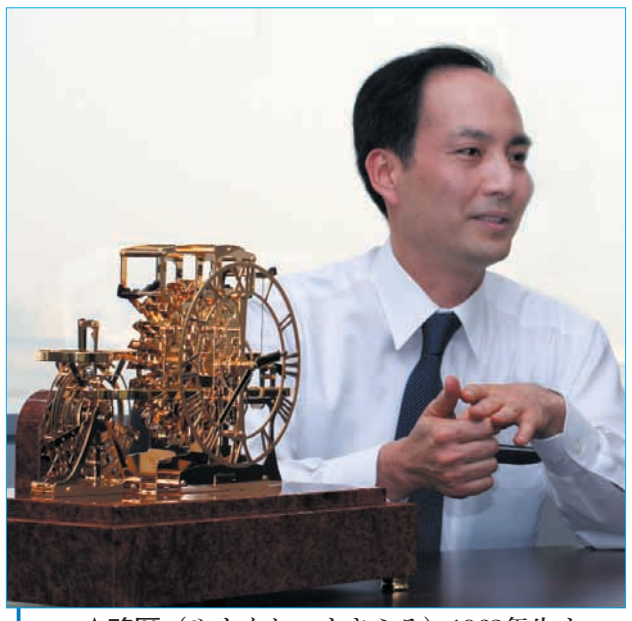
総合パンフレットを送付いたします(無料)
パンフレットのご請求・講座のお申し込みは下記まで

東京理科大学生涯学習センター
TEL：03-3267-9462　FAX：03-3267-2048
URL：http://www.tus.ac.jp/manabi/
●受付時間　9:00～17:00　●交通／飯田橋駅 西口徒歩3分　双葉ビル2階

理大人

世界最古の歯車式時計をモデル 現代に蘇らせたセイコー・マン

山本　雅文さん



★略歴（やまもと・まさふみ）1962年生まれ。88年理工学部機械工学科卒、精工舎（セイコークロックの前身）に入社。01年からセイコークロック外装設計マネージャー。「悠久」は昨年６月に商品化。企業の社長などにも人気があり、既に約40台を受注している。

「いにしえ」の技術をすたらせてはならない。いまならまだ機械仕掛けの時計を作れる達人たちから技術を継承できる。そしてこの技術を未来に伝えたい。五百もの部品をすべて手作業で組み立てる「デコールセイコー悠久」（税込み三百十五万円）は、そんな想いが込められた高級置時計である。

「悠久」はその名が示すように、遠い時計の歴史を現代にたぐり寄せ完成させたものだ。山本さんはこの時計の外装設計に携わった。

世界で最初の脱進機（メカ）式の時計は、約九百年前の中国・北宋時代に生まれた「水運儀象台」だった。背丈が十二メートルもある天文観測時計で、人力で水を汲み上げて水車を回し、動力とした。これをセイコーグループでは諏訪の「時の科学館」に復元した。

企業として、ビジネスにつながる創造をめざす中で「水運儀象台」の機構を小型化してよみがえらせることになったと山本さんはいう。高級置時計の需要創造を目指す一方で、技術者の育成をも図るねらいからの商品化だった。

セイコーによる世界初の一般家庭用クオーツ掛時計の開発を機に、時計は機械式からクオーツ式に取って代わるようになった。動力はゼンマイから電池となった。クオーツのムーブメント部品の多くは量産化のきくプラスチック製となり、コピーが容易になった。だが振り子や天府（てんぷ）、脱進機構、歯車からなる機械式時計は、設計、製造、組み立て、品質管理が有機的に連携しないと製品化できない。しかも現在、大手国内クロックメーカーによる機械式ムーブメント生産はゼロだ。

一度、技術が途絶えれば、復興には長い年月と費用がかかる。だからその技術を知る人から学び、新たな人材を育てたい。その実践のもとに「悠久」は誕生したのだ。

「悠久」は北宋時代の技術に学びながら、水力に代えて高精度の鋼球を用い、その落下する力で水車を動かしながらもクオーツ時計の精度を実現するなど、昔の技術と最新の技術を、機械式時計に熟練した技術者が結び付けて完成させた。

山本さんの父は飛行機の整備の仕事をしていて、家にはいろいろな工具があった。小学生の時からラジオ、ラジコンなどを組み立てた。科学には人一倍、関心をもつ少年だった。だからおのずと大学では機械工学を選んだ。大学時代は車が好きで、タイムトライアル関東甲信越ミドルクラスの年間チャンピオンになった。根っからの機械好き、ぶれることのない一筋の道を歩き続けている。（K）

思い出いっぱい278人

長万部退寮式

基礎工学部長万部校舎で二月二十日、第十九回退寮式が行われ、一年次教養課程を修了した二百七十八人が長万部学寮を退寮した。

福田基礎工学部長、藤井教養部長は式辞で、長万部で得た経験をこれからの専門課程でどのように活かしていくべきかを述べ、塚本理事長も今後の学業に期待すると激励した。また長万部町の加藤町長から温かい言葉があり、記念品が学生たちに贈呈された。これを受けて学生代表二人が謝辞を述べた（別項）。学生は、新二年生として、この四月から野田校舎における専門課程に進む。

割田美穂子さん（電子応用工学科）の言葉　共同生活を通して協調性、自主性を身に付け、人間的にも大きくなっていくのが感じられました。個性をぶつけ合い認め合う中で、自らの個性を一層伸ばせたように思います。雄大な北海道での生活は、高層ビルが立ち並ぶ無機的な環境で暮らしてきた私にとって、極めて貴重な体験でした。長万部町の方々にも感謝の気持ちでいっぱいです。先生方には、講義だけでなく親身にご指導いただきました。ここで培った自主性や独創性を糧として、頑張っていきたいと思います。

小山智也さん（生物工学科）の言葉　「人との出会い」という意味で部活やイベントを通して、数多くの仲間たちに出会うことができました。その全ての人の支えがあって、自分は生きているのだということを学びました。最高の仲間たちに恵まれたことは、基礎工学部の学生にとって最大の「強み」だと思います。この一年、他の多くの大学生が経験することができない経験をしました。多くのことを学び、このキャンパスが僕らを人間として大きく成長させてくれました。ありがとうございました。

退寮式で励しの言葉を贈る藤井教養部長

野田キャンパスのカナル会館竣工

塚本理事長（中央）、竹内学長（同右）、越地野田地区学生部長（同左）らによるテープカット

南側のふれあい橋から見たカナル会館（中央）

創立百二十五周年記念事業のキャンパス再構築計画のひとつ、野田キャンパスカナル会館が完成し、三月二十七日に竣工式が行われた。式は塚本理事長、竹内学長はじめ本学関係者及び㈱山下設計、㈱竹中工務店、六興電気㈱、斎久工業㈱、東洋熱工業㈱の関係者らが参列し、厳かに行われた。

カナル会館は、南側に桜並木や利根運河が広がり、北側は野田キャンパス本体の校舎へと続く、キャンパスの入口に位置する新しいランドマークだ。

吹き抜けの一、二階は約六百席の食堂で、南・西・北の三方向は全面がガラスの壁。南の運河から西や北のキャンパスへとダイナミックな眺望が楽しめる。さらに南面窓を開放すれば、運河の空間へと連なるテラスへと続き、内外空間の一体利用も可能だ。三階にある約二百席の会議室と約一五〇平方　の展示室では、ロビー・ホワイエを前室として配置し、外部環境変化の影響を直接受けにくいという工夫もされている。

また環境にも配慮しており、大きなガラス面は、高性能フィルムにより日照と内外温度差によるエネルギー伝達を低く抑え、空調負荷を低減しながら広大な眺望を獲得した。両面受光式の太陽光発電装置を導入する等、開放的な装いと省エネルギーの両立を実現している。

平成17年度 小玉記念科学賞に39人

平成十七年度小玉記念科学賞授与式が、三月二十日、学位記・修了証書授与式終了後に神楽坂キャンパスなどで行われ、各受賞者の名前が彫りこまれたクリスタルガラスのトロフィーが贈呈された。

小玉記念科学賞は、㈶科学技術振興会（小玉財団）が学業研究に極めて優秀な成績を修めた卒業生たちに贈る賞で、本年度の受賞者は次のとおり（敬称略）。

【理一】数学・相川美紗／物理・本橋篤／化学科・岩崎有希子／数情・小泉賢洋／応物・平川学／応化・谷口沙織

【理二】数学・大水郁夫／物理・竹内浩平／化学・鎮目瑠美

【薬学】薬学・赤澤真／製薬・大島亮輔

【工一】建築・外村光／工化・後藤靖博／電気・滝田剛志／経営・藤田寛幸／機械・棚木航介

【工二】建築・原翠／電気・丸山達也／経営・吉田光範

【理工】数学・福永知則／物理・岩田宗朗／情報・秋庭卓也／応生・小祝孝太郎／建築・園田岳志／工化・宇都宮将道／電情・田辺智得／経営・奥村尚美／機械・北條晃／土木・大橋暁

【基礎】電子・高橋慧至／材料・小宮山蓉子／生物・吉田祐果

【経営】横道篤

【山口理大】電情・大迫新／物環・大川真

【諏訪理大】電子・青鳥剛嗣／機械・牧野内玲子／経情・片山慈子

【OB企業人】東洋熱工業代表取締役社長　野末尚

ご意見・ご感想をお待ちしています！
【宛先】〒162-8601 新宿区神楽坂1-3 東京理科大学広報課
【FAX】03-3260-5823【E-mail】koho@admin.tus.ac.jp

平成17年度学長表彰

学長賞・学生部長賞 4団体と4人に

竹内学長（前列左から３人目）とともに平成17年度学長表彰の晴れの受賞者たち

平成十七年度の学長表彰式が三月十六日、日本出版クラブ会館で行われ、式には学長、各学部長を初め教職員、受賞者ら総勢約百八十人が参加した。学長賞に一団体と個人一人、学生部長賞に三団体と個人三人をはじめ、全体で団体の部九団体、個人の部三十八人が表彰された。

式終了後の祝賀会では、受賞者が今後の抱負を語った。学長賞の舞踏研究部によるパフォーマンスは会場を一層華やがせ、また肩を組んで校歌を歌い、先生らも交えて和やかに懇談した。

● 学長賞 ●

受賞団体・個人と主な成績・記録

Ⅰ部体育局・Ⅱ部体育会舞踏研究部（神楽坂）
第50回全日本学生競技ダンス選手権大会３位

大室　俊之（Ⅱ部体育会柔道部４年）
第51回東日本二部学生柔道大会（軽量級の部）優勝
第33回全日本二部学生柔道大会（軽量級の部）準優勝

● 学生部長賞 ●

Ⅰ部体育局ハンドボール部（神楽坂・野田）
関東学生ハンドボール連盟秋季リーグ（第４部）優勝［３部昇格］

Ⅰ部体育局・Ⅱ部体育会陸上競技部（神楽坂・野田）
関東理工系陸上選手権　優勝
第75回日本学生陸上競技対抗選手権大会出場権獲得（400mリレー）

Ⅰ部体育局ラグビー部
関東大学リーグ戦（第４部）２位［３部昇格］

牧井　友志（Ⅰ部体育局洋弓部・野田４年）
関東学生アーチェリーＫ．Ｓ．Ａ．Ｆカップ５位
第44回全日本学生アーチェリー個人選手権大会18位

荒巻　潔（Ⅰ部体育局ウエイトトレーニング部・神楽坂４年）
第46回関東学生ボディビル選手権大会８位
第40回全日本学生ボディビル選手権大会12位

小田原　洋子（Ⅰ部体育局舞踏研究部・神楽坂４年）
第50回全日本学生競技ダンス選手権大会クイックステップの部２位

● 功労賞 ●

体育祭実行委員会（神楽坂・野田・久喜）
新しい試みのバスケットボールフェスティバル、後夜祭では和太鼓演奏など、約1600人の参加者を集め地域と連携した

理大祭実行委員会（神楽坂）
新企画のオープンセミナー、地域に密着した神楽坂写真展など、多彩な企画で「広がれ！俺の宇宙」のテーマを見事に表現した

理大祭実行委員会（野田）
祭典中は多彩な企画で理大祭を盛り上げた。特に薬学地区で行われた子供広場は多くの親子連れで大変な賑わいであった

理大祭実行委員会（久喜）
本学OB桂歌助御匠の寄席、OGのtakamiさんのライブ等を開催した。また「理方博～Recycle～」をテーマとし、学園祭を成功させた

桑折　崇宏（Ⅰ部体育局局長）**他本部役員16名**
角河　晴幸（Ⅱ部体育会会長）**他本部役員９名**

● 特別奨励賞 ●

齋藤　喜他（Ⅰ部体育局洋弓部・神楽坂２年）
関東学生アーチェリーＫ．Ｓ．Ａ．Ｆカップ優勝

五嶌　由衣（Ⅰ部体育局弓道部・野田３年）
第53回全日本学生弓道選手権大会個人戦２位

岡江　学（Ⅱ部体育会舞踏研究部・３年）
第50回全日本学生競技ダンス選手権大会クイックステップの部２位

佐藤　正徳（神楽坂２年）
第２回パシフィックジュニアカーリング選手権大会出場［日本代表］

● 奨励賞 ●

鳥人間サークル東京理科大学ー鳥科（神楽坂）
第29回鳥人間コンテスト７位

大沼　康平（Ⅰ部体育局少林寺拳法部・神楽坂１年）
伊藤　絵理（Ⅰ部体育局少林寺拳法部・神楽坂１年）
第38回全日本学生大会（男女段外の部）最優秀賞

杉﨑　忠洋（Ⅰ部体育局男子ラクロス部・野田３年）
日本ラクロス協会21歳以下男子日本代表選手に選抜

創立125周年記念イベント

東京理科大学の創立125周年を記念して
各キャンパスで様々なイベントが行われます

Conscience
21世紀の「科学」は「良心」へ向かう

6月17(土)・18(日)日

神楽坂キャンパス
125周年記念イルミネーション
神楽坂コラボ
125人の理科大生からのNo.1
神楽坂アドベンチャー
ロボットウォーズ
理科大オリジナルゲームを作ろう
Lab Performance 125
みらい研究室〜科学へのトビラ〜　他

久喜キャンパス
記念講演会
記念花火大会
記念植樹
ステージ企画
模擬店
ゼミ紹介　他

野田キャンパス
スポーツフェスティバル
花火大会
立体ビンゴ
夢工房と発明コンテスト
講演会
高校生合同企画
ビアガーデン
理科大の歴史展　他

6月24日（土）

長万部キャンパス
基礎工学部創設20周年記念

記念式典、祝賀会　等
記念講演会
花火大会　他

サイエンスフェア
@日本科学未来館（東京・お台場）

記念講演会「古代の遺跡から、宇宙まで」　的川泰宣氏・楠田枝里子氏による講演！（18日のみ）

サイエンスラボ　ー科学技術の情報拠点ー
「物質・情報・生命、融合から創造へ」　研究者自身による解説や体験型の展示が、サイエンスの最前線へといざなってくれます。

みらい研究室〜科学へのトビラ〜　理科大の学生がキャンパスを飛び出し楽しい科学教室を開催します。

詳細はhttp://www.tus.ac.jp/125/をご覧ください。6月14日には記念式典が開催されます。